



# Web Fairy Paradise

**第22号**

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第21回WFPフェアリー作品展
- ・ 推理将棋32回出題
- ・ OFM 第 158 回出題
- ・

結果発表

- ・ 第20回WFPフェアリー作品展
- ・ OFM 第 157 回出題
- ・ 推理将棋第31回出題
- ・

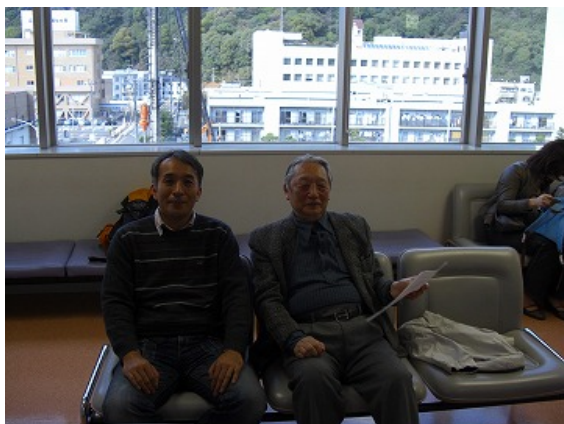
読み物

- ・ Fairy Top IX 2009 お気に入り投票結果
- ・ 秘密文書解決編
- ・
- ・
- ・



**2010/4**

## はじめに



4月3日(土)に今年も詰将棋解答選手権の広島会場のお手伝いに行ってきた。解答選手権の方はnatsuoさんと田儀さんが活躍されたので無事何事もなく終わりました。私はというと一般戦の前半部分でロビーにて広島在住で解答強豪の市村氏にお会いして30分ばかりいろいろなお話をさせて頂きました。市村氏は昭和8年生まれとのことで御年76歳。今でもフェアリー作品の難解作を解かれています。最近では余り閃かなくなったと仰られていましたが、OFM157回出題作品やWFP3月号の拙作の感想など、私が頭の中でついていけないほどの手順を早口で言われるのにはビックリでした。まだまだ今後も解答で活躍されることでしょうか。お体に気を付けられますよう・・・またお会いできればと思います。

一番驚いた市村氏の一言

「昔は夢の中で詰将棋が解けたんだけどねえ～」

皆さんはどうですか？

さて今号の目玉はFairy TOP IX2009のお気に入り投票の結果発表です。投票数も昨年より増えて担当としましても嬉しいことです。ただ推理将棋を除く授賞コメント依頼をたったお二人の方に送るだけで済むと言うのは・・・寂しいですねえ。他の作家の皆さん今年度は頑張ろうではありませんか！（私を含めて）

なお今月は妖精賞の系譜はお休みさせて頂きました。ご了承ください。

## 【募集】

### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

### 感想

第22号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：[takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

### 協力いただいている方々のHPアドレス

\* ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

#### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

#### イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

<http://www.first-moon.com/>

\* 表紙のイラストを使用させて頂いております。

# 第 21 回 WFP 作品展 担当 紅月花煉

## [ 作品投稿要項 ]

- 1) 作品投稿は随時受け付けています
- 2) ルールは不問です。フェアリー系ルールならばかしこでも可です( 安南詰 etc)
- 3) FM 等で検討済みの場合はその旨を付記して下さい
- 4) FM 等で検討出来ない場合は検討の手伝いをします

## [ 解答要項 ]

解答締切：平成22年 5 月 15 日

本作品展は、正式発表とし TOP IX の対象となります。また解答のコメントは結果発表にて掲載いたしますのでご了承下さい

作品投稿及び解答は

webfairyparadise\_you@yahoo.co.jp

をお願いします

余詰・近況報告は

<http://circe-pro.cocolog-nifty.com/blog/>

で行っています。確認の上、解答下さい

## ルール説明

### 【協力詰】

先後協力して最短手数で受方玉を詰ます

### 【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方玉を詰ます

### 【鏡】

玉の利きが、王手をした駒の利きになる

### 【成禁】

成る手を認めない

### 【Messigny】

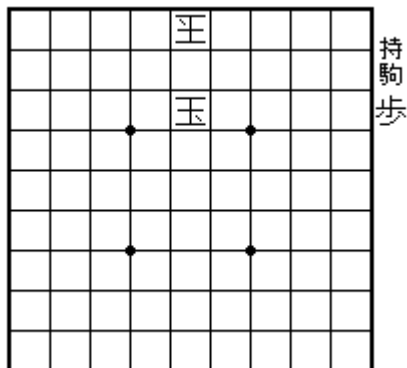
1. 盤上に置かれている双方の同種の駒（玉を含む。成駒は別種の駒として区別する）は 1 手でその位置を交換することができる
2. 交換する時に駒を裏返すことは出来ない
3. 行き所のない駒や、二歩が発生するような交換は禁手
4. x と y の位置にある駒を交換する着手を y / x で表す

### 【前置き】

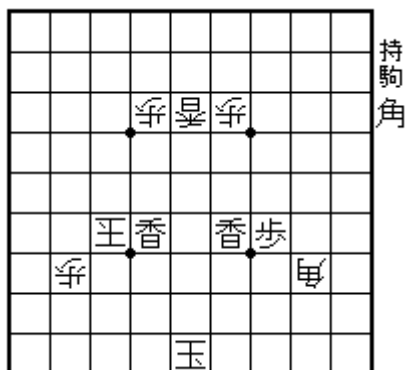
OFM に続き、雲海氏より大作が届きました。f m 検討を通っていませんので完全の保証はありませんが悪しからず…今回は久し振りにシン氏から投稿がありました。有難うございます。神無太郎氏からは messigny が 3 作！！最初の 4 作品は難しくないと思いますのでゆっくり第 6 番を解けると思います

## 【妖精】

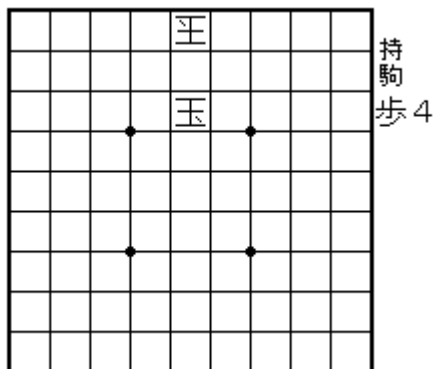
第 1 番 神無太郎氏作 Messigny 協力詰 9 手



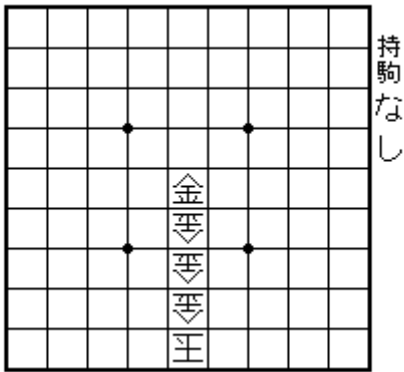
第 2 番 シン氏作 鏡協力自玉詰 10 手



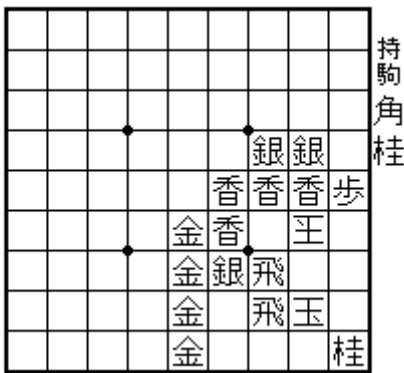
第 3 番 神無太郎氏作  
Messigny 打歩協力詰 13 手



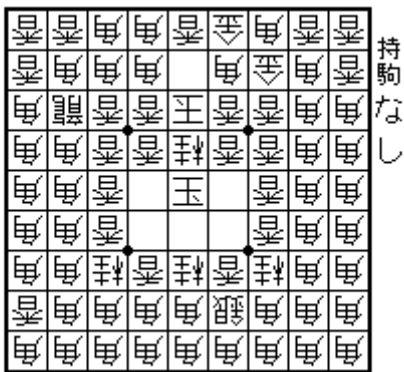
第4番 神無太郎氏作 Messigny 協力詰13手



第5番 たくぼん氏作 協力自玉詰66手



第6番 雲海氏作 成禁協力自玉詰 9112手  
命名「傘の曲」(C-)



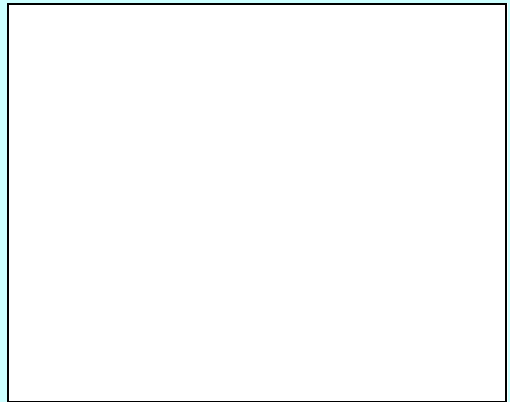
先手持駒 金4555銀

後手持駒 なし

たくぼんの解図日記 2/27より

冬季オリンピック記念

ばか詰 11手 「銀メダル」



ばか詰 9手 「金メダル」



共にたまたま並べたら唯一解だったというものの。頭の体操にどうぞ・・・

開催日 : 2010 年 4 月 19 日 (月)  
 解答締切 : 2010 年 5 月 8 日 (土)  
 解答発表 : 2010 年 5 月 9 日 (日)

神無七郎 作

PWC協力詰 107手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					皇				一
		歩			皇				二
					皇				三
		争			皇				四
			皇			桂	桂		五
				王		王	爵		六
					桂	桂	爵		七
				王	歩	王			八
				王	王				九

持駒 角

【ルール説明】

協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

PWC

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。ただし二歩や行き所のない駒は復元せず、取った方の持駒となる。

本作の解答を管理人宛

(janacek789@ybb.ne.jp) に E-mail でお送り下さい。

解答締切 : 2010 年 5 月 8 日 (土)

解答発表 : 2010 年 5 月 9 日 (日)

【コメント】

今は4月の後半。世間的にはゴールデンウィークの控えて予定を立てる時期ですが、筆者にとっては「神無一族の氾濫」の出題稿を作成する時期です。結果稿に比べると出題稿は書くことが決まっている分作成が楽なのですが、作品が思うように揃わない時など、出題の質を落とさずどうやって頭数を揃えようかと四苦八苦することがあります。

そのような事態に備えて用意するのが「予備作」。自分でテーマに合う作品を作ったり、逆に既存のストックに合わせてテーマを選んだり(ちょっとズルイ)することにより、投稿不足に備えるのです。幸い今回の「第32回神無一族の氾濫」にも、十分な数と質の作品が寄せられたので、「予備作」をこちらの出題に回すことができました。このところ長編ばかりが続いて解答者の皆様も大変かと思いますが、連休などを利用して解答をお寄せ下さい。創作の出発点は第156回出題と同じ素材ですが、あれよりは易しいと思います。

えっ、いつもよりコメントが短い? まあ、いろいろ立て込んでいますので……

(担当: 神無七郎)

推理将棋第32回出題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第32回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門

([http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post\\_53f2.html](http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html)) をごらんください。

解答、感想はメールで2010年4月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第32回解答」でお願いします。

全解答者から抽選で2名に賞品リスト

(<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/tenji/shohin.htm>) からどれでも一つご希望のものをプレゼント！

推理将棋第32回出題 担当 タラパパ

詰パラの推理将棋コーナーで、今年から年間優秀作の発表開始！

第一回優秀作品は次の通りでした (敬称略)。

最優秀作：松田圭市・安江久男合作 (11手)

※最優秀作はこちらで紹介されています

優秀作：はてるま作 (20手)

佳作：中村雅哉作 (16手)

新人賞：奥野 眞作 (13手)

さて今月の出題は、並びにご注意ください。中～初～上級です。

ミニベロさんお得意の三捨利警部シリーズは、7手目までに先手の小駒が成って、それを王手で2度動かしたら詰むというもの。ヒントにそんなことできるの？と思いますよね。

DD++さん作は、原案では2手順の手数が明かされない画期的な作品でしたが、おもちゃ箱向けに手数を明かしての出題です。実は担当者、32-3の詰上がりは11手かかるとばかり思っていました。

32-1 中級 ミニベロさん作  
三捨利警部の推理 主犯は誰だ 11手

相手の駒を取って打つ余裕はありません。

32-2 初級 DD++さん作  
両隣の将棋 (1) 9手

止めは成る手のようです。

32-3 上級 DD++さん作  
両隣の将棋 (2) 10手

居玉を詰ませる代表3手段は、金に働かか、桂で吊るすか、両王手。

32-1 中級 ミニベロさん作  
三捨利警部の推理 主犯は誰だ 11手

「警部、今度の11手詰事件は、小駒の成駒による連続王手です」

「2手目は分かるかね」

「はい、4筋の手であることは判明しています」

「なるほど、主犯は分かった。もしかしたら新しい手口かもしれないよ」

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 小駒の成駒による連続王手があった
- ・ 2手目は4筋の手

※すでに成っている小駒による連続王手です。

32-2 初級 DD++さん作  
両隣の将棋 (1) 9手

「隣の将棋、あつという間に詰んだね」

「先手が指したのは1枚の歩を4回動かしたのと、飛の手1回だけか」

「その飛の手直後の7筋の手はびっくりしたよ」

「4手目の5筋の手も興味深い手だ」

「この短手数なのに成る手が2回もあったんだね」

「9手で勝った先手は気分よかったですね」  
 「え、後手が10手で勝ってなかった？」  
 「あれ、もしかしてそっち側の隣の話してたのか」

どうやら、両隣の全く別手順の将棋を見ながらも会話が成立していたようです。  
 両隣の将棋はどういう将棋とどういいう将棋だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 9手で詰み
- ・ 先手の着手は同じ歩の手4回と、飛の手1回のみ
- ・ 先手の飛の手直後に後手は7筋の手を指した
- ・ 4手目は5筋の手
- ・ 成る手が2回あった

32-3 上級 DD++さん作  
 両隣の将棋(2)

10手

初級と同じ会話

(条件)

- ・ 10手で詰み
- ・ 先手の着手は同じ歩の手4回と、飛の手1回のみ
- ・ 先手の飛の手直後に後手は7筋の手を指した
- ・ 4手目は5筋の手
- ・ 成る手が2回あった

追加ヒント(2010年4月16日タラパパ)

追加ヒントです。こうして見ると成駒特集?  
 (^^)

32-1: 先手が成った小駒は、自陣から出て行った桂か歩。

32-2: 成った駒は歩と角。

32-3: 先手の成った駒が取られました。

前号で掲載いたしました、背面キルケ協力自玉詰10手の解答です。

背面キルケ協力自玉詰10手

										九
										八
										七
										六
										五
										四
										三
										二
										一

持駒 飛

16飛、17角、同玉/22角、56香、同飛/91香、66香、同飛、87玉、21香、27角成まで10手

初手は飛の最遠打。この意味付けは、王に角を取らせて22に復活させ、かつ王を1筋へ移動させるために17角を打たせることにあります。続いて、香か飛を攻方に渡すのですが、飛を渡すためには82を埋める必要がありますが、難しいため香を渡します。この時、王が1筋がいるので11に香が復活させないようにします。そのため4手目は5筋から左でないといけません。そして8手目87玉と9手目21香が可能になるには、4手目が5筋へ、6手目が6筋へ、それぞれ香合しないといけません。以上の手順を踏まえて、最後に27角成が可能になり、自玉を詰ますことができます。

この作には、11へ香を復活させる、玉を王の近くに飛ばす、などの強力な紛れがあり、これを乗り越えて、正解する方がいらっしやるかどうかは、興味がありましたが、人間向きの問題ではないと判断し、結果詰上りの部分を抽出した、フェアリー短編コンクールの拙作の図を選択しました。

# 第 20 回 WFP 作品展結果 担当 紅月花煉

解答者：5名

全題正解者：雲海氏 神無七郎氏

5題正解者：たくぼん氏 渡辺氏

4題正解者：市村道生氏

## 【前期解答成績】

第6回～第17回迄全72題

市村道生氏	0 0 0 0 0 0 0 ②③④④⑥	19
雲海氏	⑤③⑨⑥⑨⑧⑧④③④⑥⑤	70
神無七郎氏	⑤③⑨⑥⑨⑧⑨④③④⑥⑥	72
小峰耕希氏	0 0 0 0 ⑤ 0 0 0 0 0 0 0	5
志賀友哉氏	0 ①⑤ 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6
隅の老人B氏	⑤③⑤⑤⑥⑦⑧④③④ 0 0	50
たくぼん氏	⑤③⑨⑥⑨⑦⑧④③④⑥⑥	70
冬眠蛙氏	0 0 ① 0 0 0 0 0 0 0 0	1

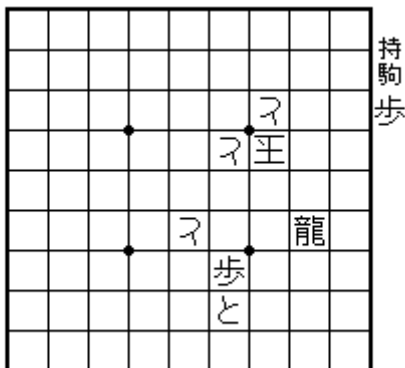
集計結果上記のようになりました。計算間違いがないといいですけど……

トップは神無七郎氏でした。氏に記憶にある作品などをお聞きしようとしたのですが冷静に考えて Fairytopix で語られる事でしょう。なので、今回は止めておきました……

作者・解答者の皆様ありがとうございました。今期も宜しく願います  
では、結果稿です！！

## 【妖精】

第1番 洞江元太氏作 安南協力詰3手



- a) 利き2歩有効
- b) 利き2歩無効

## 【作意】

a) 35歩45玉36龍迄3手

b) 25歩45玉46歩迄3手

## 【作者コメント】

～狙い～

安南詰は二つルールがあるのだから活用してみようと思い、ツイン作品を創ってみました。当初は5手が最短だと思っていましたが、途中で3手が可能なことに気づきました。なので今回は手数も短いので簡素を目標に作図してみました。f m検討済みです

～作品解説～

a)について：利二歩が有効であるので、初手に25歩と打つと打歩詰の禁手になってしまいます。なので初手は35歩と打つ手となります。また36竜の両王手に対しても、47歩の利きが有効となりで竜を取れずに詰みとなります。

b)について：a)と同様の手順をすると利二歩が無効であるので最終手に同玉とされ詰みません。しかし今度は逆には初手に25歩と打つても利二歩が無効であるので打歩詰にはなりません。25歩の利が効かないのは歩の在る4筋だけであるので、最終手に対して55には逃げられません。また最終手に対して同とは、その瞬間25歩の利きが4筋にも及ぶので取れません。よって詰みとなります

## 【担当者コメント】

丁寧な解説有難うございました。上記で完全に説明されていると思いますがこの配置で出来たのが素晴らしいと思います

## 【短評】

市村道生氏：

綺麗な初形ですねえ。両解とも3手目が好手で、作品が引き締まります。特に、(b)の46歩はユーモラスな一着です

雲海氏：

bはすぐ分かりましたけれど、aで混乱。25歩の1手で詰んでいるように思えるのですが……。とりあえず3手で詰んだのがありましたから、そちらを解答します

神無七郎氏：



利き二歩有効と利き二歩無効。単純さを求めるなら利き二歩有効、複雑さを求めるなら利き二歩無効でしょうか。複雑なルールだと余詰防止が面倒になるので、長編作家の私には単純なルールの方が都合が良いのですが、世間一般はそうではないようで…フェアリーランドなどで複雑な方のルールがデフォルトとして採用される度に嘆いています

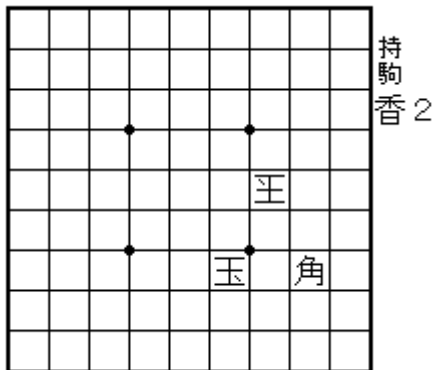
たくぼん氏：

b)の最終手は初めて見る気がする。最終図に歩が消えていないだけに盲点になる

渡辺氏：

利き二歩のルールを巧く考えたものです。無効だと25歩に45玉と逃げる事が出来るのがポイント

第2番 雲海氏作 協力白玉詰10手



【作意】

39香 38飛 37香 36角 同香 45玉 12角  
23飛 34香 27飛成 迄 10手

【作者コメント】

最終手のアンピンから駒が途中発生させるように組み立てたものです。双裸玉にしたかったけれど無理だったものです

【担当者コメント】

アンピンというテーマ。説明は不要かもしれませんが、アンピンとは、ピンが解除されるという事(そのままですね)

pin : ラインピースが敵Kを間接的に狙うことで、間にある別の駒の動きを抑える事

此処では、12角23飛となった局面で、23飛が12角によってピンされています。が、34香に23飛のピンが解除される事で再び動けるようになります。これが主眼ですが、前に巧く序奏が付い

た事で巧く纏まっています

【短評】

市村道生氏：

9手目の34香はこれぞ実の絶妙手。気持ちのいい着手です。これが実践なら、さしずめ攻守逆転の大悪手と云うところ

神無七郎氏：

チェスプロブレム用語を使えば「アンピン」が主題でしょうが、何という筋の良さ！“香は角筋を止めるためにある！”

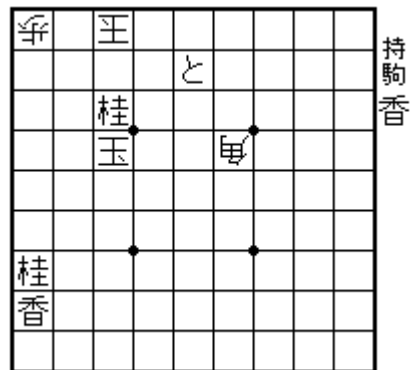
たくぼん氏：

逆サイドから攻めて悩みました。12角が雲海さんらしい手でした

渡辺氏：

香車で角の王手間の間接移動合(?)をするのが面白い。チェスのような詰め上がり。先手持駒なしだから透かしていてもOKですね。最初の3手は形と持駒からほぼ決め付けでした

第3番 真T氏作 最悪詰17手



【作意】

61と 82玉 84香 83角 同香生  
93玉 75角 84桂 同角 94玉  
93角成 同玉 85桂打 94玉  
93桂成 同玉 85桂 迄17手

【変化】

初手

- 62とは同玉61桂成同玉62香71玉61香成81玉71成香82玉81成香93玉85桂迄
- 61桂成は81玉で  
71とは同玉、61と、同玉以下詰み  
82香は72玉、62と、82玉以下詰み

83 香は、82歩71と同角82香成同玉

83歩93玉85桂迄

・81桂成は同玉82香72玉62と82玉72と以下詰み。

・72香は82玉81桂成93玉85桂迄

3 手目

・81桂成は同玉82香72玉62と82玉72と93玉85桂迄

①86香は85桂で

81桂成は93玉85桂迄

同香は92玉84桂93玉92桂成同玉82香成同玉81桂成93玉85桂迄

7 手目

・82角は94玉85桂95桂同香同玉

87桂94玉93角成迄

・57角は66桂同角同角85桂打94玉

93桂成同玉85桂迄

11手目85桂は95合同香迄

【紛れ】

2 手目

72玉は71と同玉81桂成同玉82香

92玉85桂93合同香生以下逃れ

② 4 手目

・92玉は85桂93合82香成以下逃れ

・83歩合は同香生93玉94歩92玉82香成同玉93歩成以下逃れ。

・83桂合は81桂成同玉83香生82歩同香成同玉94桂以下逃れ

8 手目

・94玉は85桂95合同香同玉84角94玉93角成以下逃れ

【作者コメント】

限定打とそれに対する捨合が狙いです

【担当者コメント】

61とという軽い序？を経て、主眼の84香の限定打が登場します。

85香とすると92玉で即死しますので攻方は85の地点に香車を添える事は出来ません。また、受方は兎に角、他に王手がない形で93玉と逃げてしまえば攻方は85桂とするしかなくなり詰まされる事が可能になります。なので、攻方はなるべく他に王手がある形で93玉型を作る事を心がけます。此処から84より遠くに打つと早く詰む事になります(変化①を参照)

7手目の局面で再び75角という限定打に対して

84桂合という先と同じ限定打～捨合という手順が出現し、93へ角桂と捨てて目的の形に達します。簡単な構図で84への限定打を実現したすばらしい作品だと思います

【短評】

雲海氏：

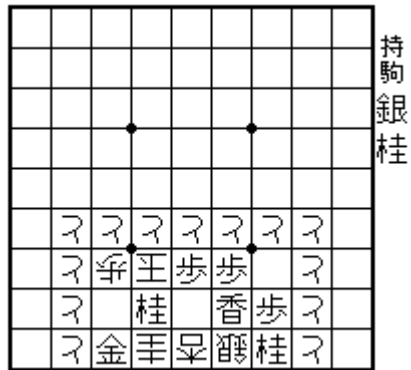
85へ桂を打たせないための84への香限定打ですか。巧いですね～。75角からの手順もお見事。

神無七郎氏：

創作困難な上段の最悪詰。

不詰感漂う3手目の変化が両王手含みの構図により全部早く詰むのには感心あるのみです。これは最悪詰の新領域開拓の有力な手段になるかもしれません

第4番 たくぼん氏作 強欲協力詰31手



【作意】

78金 同歩生 58 銀 68 玉 69 銀 57 玉 68 銀 48 玉 59 銀 39 玉 48 銀 38 玉 39 銀 47 玉 38 銀 同銀生 39 桂 同銀生 49 香 48 飛 同香 同銀生 59 桂 同銀生 49 飛 57 玉 59 飛 67 玉 69 飛 77 玉 68 銀 迄 31 手

【作者コメント】

初手と2手目の意味が最後に分かるという伏線が狙い

【担当者コメント】

いきなり、78銀とすると直ぐに詰るので78金と捨てて68への逃げ道を確保します。この時の玉方の応手が問題ですがこれが最終手への伏線手となっています。58銀以下は手が切れないように指せば大丈夫ですが、その銀を捨てて無仕掛けにする38銀が少し見えにくい手となっています

す。後は、飛車を打って逆側に再び追い戻せば詰みですが此処で初めて2手目が生限定だった事が分かります。楽しめるなかにも少し謎解きがあるという作者らしい好作だと思います

【短評】

市村道生氏：

銀を取る手が本手順に見えて有望ですが、これは巧妙な偽作意。かなり悩ませられました。飛車を縦に使うのも、予定外の手順でした。好作です

雲海氏：

強欲の密室物とは凄いものを作るなあ、と思って解き始めましたが、最初の金捨に気づかなかったり、途中銀で銀を取ったりして、悩まされていました。連続銀生にやっと気づき、綺麗な手順が入っているなあと感嘆していたら、最後に2手目の伏線の効果が出て来て、なるほどと再び感嘆しました。

神無七郎氏：

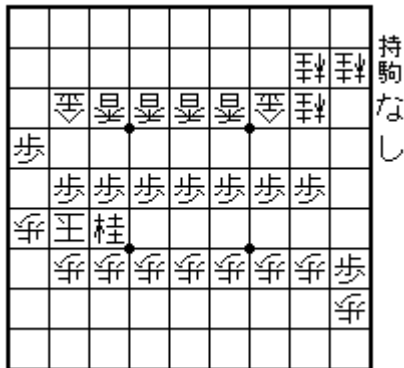
途中無仕掛にする38銀がなかなか見えず、結構苦労しました。華麗な受方銀の左右ステップに序の伏線も加わり、解後感も良い作品です

渡辺氏：

囲いを破らずに駒を整頓していく方向で考えると巧く行きますね

第5番 神無七郎氏作

Messigny 協力詰79手



【作意】

87歩 /85歩 76玉 77歩 /75歩 66玉  
 67歩 /65歩 56玉 57歩 /55歩 46玉  
 47歩 /45歩 36玉 37歩 /35歩 26玉  
 27歩 /25歩 15玉 16歩 14玉 15歩 13玉

14歩 24玉 25歩 /27歩 34玉 35歩 /37歩  
 44玉 45歩 /47歩 54玉 55歩 /57歩 64玉  
 65歩 /67歩 74玉 75歩 /77歩 84玉  
 85歩 /87歩 95玉 96歩 /94歩 86玉  
 87歩 /85歩 76玉 77歩 /75歩 66玉  
 67歩 /65歩 56玉 57歩 /55歩 46玉  
 47歩 /45歩 36玉 37歩 /35歩 26玉  
 27歩 /25歩 17玉 18歩 /14歩 16玉  
 17歩 15玉 16歩 24玉 25歩 /27歩 34玉  
 35歩 /37歩 44玉 45歩 /47歩 54玉  
 55歩 /57歩 64玉 65歩 /67歩 74玉  
 75歩 /77歩 84玉 85歩 /87歩 93玉  
 94歩 /96歩 82玉 93歩成 72玉 83と  
 81玉 72金 91玉 82と 迄 79手

【作者コメント】

Messignyの軽い趣向作。最終手「82金まで」とするウツカリさんは出るでしょうか？

【担当者コメント】

Messignyルールを利用した趣向作品です。玉を下段に落としたいのですがその為には94歩→96歩の形にしないといけない。94歩→96歩の形にすると再び玉が86に戻るなので結局もう一回転必要になる。これだけの単純な仕組みで2回転は見事です。最終手うっかり、82金とすると82金/33金で逃れてしまいます

【短評】

市村道生氏：

これは、全く愉快的な手順です。手数表示がないと、33の隠れ忍者に刺されるところ。1筋と9筋の歩は何時もながら垢抜けした好配置です

雲海氏：

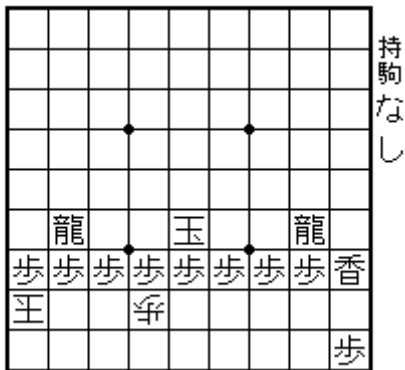
心地よい見事な趣向。1往復で終わっていない所もいいですね

たくぼん氏：

楽しい鬼ごっこ。鬼は変わり身の術を使いますね

渡辺氏：

綺麗に2周回るのが気持ち良く、収束もルールを生かした限定で巧い。暗算だと永久にぐるぐる回る気がしましたが、実際並べてみると楽勝でした。最後は金を交換されないようにと金で詰めればOK。76桂は何かと思えば、87/85、95玉、96/94、84玉、87/85、93玉以下の早詰め防止ですね



先手持駒：角38歩 1

後手持駒：飛角金銀桂香歩無制限

【作意】

89角 同玉 78角 同玉 69角 同玉 58角  
 同玉 69角 同歩成 49角 同玉 38角 同玉  
 29角 同玉 38角 19玉 28角 同玉 39角  
 同玉 48角 同玉 59角 同と 39角 38玉  
 49角 同と 29角 同玉 38角 39玉 48角  
 同玉 39角 同と 59角 38玉 29角 同玉  
 18角 同玉 29角 同と 19歩 同玉 28角  
 同玉 39角 同玉 48角打 28玉 39角打  
 同と 同角 同玉 48角打 28玉 39角打 19  
 玉 28角打 18玉 19歩 29玉 18角 38玉  
 29角打 49玉 38角打 58玉 49角打 69玉  
 58角打 79玉 68角 同玉 59角 同玉  
 48角 同玉 39角 同玉 28角 同玉 39角  
 19玉 28角打 迄 89手

【作者コメント】

狭い空間での密室パズル。最初の足場は19歩だけですが、手が途切れないよう慎重に手順を繋いでください

【担当者コメント】

強欲ルールなので8・9段目にある駒を増やすためには犠牲が必要です。大まかな手順を追ってみます

- 1) 69にと金を作って1筋に追って19歩を犠牲にして盤面に38角を出現させる  
 これによって、玉が角に密接している形で角を打てば（例えば、28玉38角の形で39角と打つ）角のライン変更が可能になります
- 2) 69にあると金を徐々に1筋方面に移動させ、59に角を添える

1)で可能になったライン変更を利用してと金を39迄移動させて59に角を打ちます。これによって59角39玉の形が作れば、48角打と打つ事が可能になります

3) と金を剥がす

59角を添えた後、上記の形を目指します。と金を29に移動させて19歩同玉となれば、48角打と出来る形になり、48角打～39角打でと金を剥がせます

4) 収束

と金を剥がした事で角を連打しても取る駒がなくなりました。なので、角を連打して18玉19歩として再び逆側に追っていきます。79迄追えば、19・28ラインにあった角を捨てていけば19にて収束できます

角の鎖を如何にして作るかがポイントですが色々と考えさせる点があって楽しめる作品に仕上がっています。普通の協力詰の密室物と違い詰上りが確定しているのが救いだなぁと思いました

【短評】

雲海氏：

と金を移動させるのはすぐ分かりましたが、59角&38玉の手を発生させることに気が付くのに、かなりの時間を費やしました。また、最後の角連打からの角捨ては綺麗ですね

たくぼん氏：

シンプルな初形だが、内容は奥深い。解けそうで解けない謎解き問題でした

渡辺氏：

詰みの形は見えています。17手目手拍子で18角と打つと手間が増えるので注意。他は歩を剥すことと角鎖を作ることを考えれば最も自然な手が答になっているかと思います。盤の右側にある「持駒なし」は無視して「角38歩1」で良いですね。（ソフトで「持駒角38」が入力できないときはとりあえず「角歩」で入力しておいて38を後からくっ付けるとうまいかもしれません）

【総評】

神無七郎氏：

今回はバラエティに富んだ作品が並び、内容も充実していたと思います。

特に第3番のような対抗系の作品があると、感覚の転換が要求されるので、協力系のルールだけを解くより気が引き締まります

たくぼん氏：今月は贅沢な作品群でした

# Onsite Fairy Mate 第157回出題解答

開催日 : 2010年 3月 17日(水)  
 解答発表 : 2010年 4月 18日(日)

雲海 氏作

協力詰 861手 (象=酔象)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	角	飛	香	香	香	飛	角	金	一
飛	飛	角	角	香	角	飛	角	飛	二
角	桂	飛	金	飛	飛	飛	角	飛	三
角	桂	香	飛	飛	香	角	角	四	
角	象	香	香	角	香	桂	銀	飛	五
桂	桂	香	香	桂	香	桂	銀	飛	六
桂	桂	香	飛	桂	角	桂	象	象	七
歩	歩	歩	香	歩	象	歩	象	象	八
王	王	王		王	王	王	王	王	九

持駒 象431

【ルール説明】

協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

象 (酔象)

中将棋の酔象。後方を除く周囲1マスに動ける。



なお、中将棋本来の酔象とは異なり、この酔象は成らない。

【手順】

69象 同玉 79象 同歩成 78象 同玉 69象  
 同と右 79象 同と右 89象 同歩成 88象  
 同と 89象 同と左 79象 同桂成 87象 同

と 88象 同玉 78象 同圭 79象 同と右  
 89象 同と右 99象 同歩成 98象 同と引  
 99象 同と寄 89象 同桂成 97象 同玉 88  
 象 同と寄 98象 同桂成 86象 同と 87象  
 同玉 97象 同圭 98象 同と寄 88象 同桂  
 成 96象 同玉 87象 同と 86象 同象 85  
 象 同玉 96象 同象 86象 同角 95象 同  
 玉 85象 同象 96象 同桂 84象 同玉 95  
 象 同象 85象 同角 94象 同玉 84象 同  
 象 95象 同桂 83象 同玉 94象 同象 84  
 象 同角 93象 同玉 83象 同飛上 82象  
 同玉 93象 同飛寄 83象 同飛左 73象 同  
 玉 82象 同飛引 83象 同玉 73象 同角引  
 84象 同象 94象 同飛 93象 同玉 83象  
 同飛 82象 同玉 93象 同飛寄 83象 同角  
 72象 同玉 82象 同角 73象 同角左 62象  
 同玉 72象 同飛 71象 同玉 62象 同飛  
 72象 同角上 81象 同玉 71象 同角 82象  
 同飛 92象 同玉 81象 同飛引 82象 同玉  
 92象 同角 83象 同飛 93象 同玉 82象  
 同飛引 83象 同玉 93象 同象 84象 同角  
 73象 同玉 83象 同飛 82象 同玉 73象  
 同飛 83象 同角右 92象 同玉 82象 同飛  
 81象 同玉 92象 同飛寄 82象 同角 71象  
 同玉 81象 同角 72象 同飛寄 62象 同玉  
 71象 同飛 72象 同飛引 73象 同金 63象  
 同飛寄 53象 同玉 62象 同飛引 63象 同  
 玉 53象 同飛引 54象 同飛右 64象 同金  
 73象 同飛 72象 同玉 63象 同飛右 73象  
 同角上 82象 同玉 72象 同角引 83象 同  
 象 93象 同飛上 92象 同象 83象 同飛  
 93象 同象 92象 同玉 82象 同象 93象  
 同飛寄 83象 同玉 92象 同飛引 93象 同  
 角 84象 同角左 73象 同玉 83象 同象  
 82象 同玉 73象 同象 83象 同角 72象  
 同飛上 71象 同玉 82象 同飛左 72象 同  
 飛左 62象 同玉 71象 同飛 72象 同玉  
 62象 同象 73象 同飛 63象 同象 62象  
 同玉 72象 同飛上 71象 同玉 62象 同飛  
 72象 同飛右 82象 同玉 71象 同飛 72  
 象 同角引 83象 同飛 73象 同玉 82象  
 同飛引 83象 同玉 73象 同角 84象 同角  
 右 93象 同玉 83象 同飛 82象 同玉 93  
 象 同飛寄 83象 同角 72象 同飛上 71象  
 同玉 82象 同飛左 72象 同飛左 62象 同  
 玉 71象 同飛 72象 同象 63象 同飛 53  
 象 同玉 62象 同飛 63象 同金 64象 同  
 飛 54象 同金 63象 同玉 53象 同金 54

象 同飛右 64 象 同角上 73 象 同玉 63 象  
 同飛 62 象 同玉 73 象 同飛 63 象 同象  
 72 象 同飛上 71 象 同玉 62 象 同飛 72  
 象 同飛右 82 象 同玉 71 象 同飛 72 象  
 同角引 83 象 同飛左 73 象 同玉 82 象 同  
 飛引 83 象 同玉 73 象 同角右 84 象 同飛  
 94 象 同飛上 93 象 同玉 83 象 同飛上  
 82 象 同玉 93 象 同飛寄 83 象 同角 72  
 象 同飛上 71 象 同玉 82 象 同飛左 72 象  
 同飛左 62 象 同玉 71 象 同飛 72 象 同象  
 63 象 同金 53 象 同玉 62 象 同金 63 象  
 同玉 53 象 同角引 64 象 同角右 73 象 同  
 象 72 象 同玉 63 象 同金 62 象 同象 73  
 象 同金 63 象 同玉 72 象 同金 73 象 同  
 角 64 象 同角左上 53 象 同玉 63 象 同象  
 62 象 同玉 53 象 同象 63 象 同金 72 象  
 同飛上 71 象 同玉 62 象 同飛 72 象 同飛  
 右 82 象 同玉 71 象 同飛 72 象 同玉 82  
 象 同角 73 象 同金 63 象 同玉 72 象 同  
 金 73 象 同角引 64 象 同象 53 象 同飛引  
 54 象 同象 64 象 同角上 73 象 同玉 63  
 象 同飛上 62 象 同玉 73 象 同飛 63 象  
 同金 72 象 同飛引 73 象 同金 63 象 同飛  
 53 象 同玉 62 象 同飛引 63 象 同象 54  
 象 同飛 44 象 同玉 53 象 同飛引 54 象  
 同玉 44 象 同角 55 象 同角右 64 象 同象  
 63 象 同玉 54 象 同象 64 象 同金 73 象  
 同玉 63 象 同飛上 62 象 同玉 73 象 同飛  
 寄 63 象 同飛左 53 象 同玉 62 象 同飛引  
 63 象 同象 54 象 同金 64 象 同玉 53 象  
 同金 54 象 同玉 64 象 同角 55 象 同角左  
 44 象 同玉 54 象 同金 53 象 同玉 44 象  
 同金 54 象 同象 63 象 同飛上 62 象 同玉  
 53 象 同飛右 63 象 同飛右 73 象 同玉  
 62 象 同飛引 63 象 同玉 73 象 同角引  
 64 象 同象 54 象 同飛 53 象 同象 64 象  
 同角上 73 象 同玉 63 象 同飛 62 象 同玉  
 73 象 同飛寄 63 象 同象 53 象 同香 52  
 象 同象 63 象 同飛 73 象 同玉 62 象 同  
 飛引 63 象 同玉 73 象 同角引 64 象 同飛  
 54 象 同玉 63 象 同飛引 64 象 同角引  
 55 象 同金 44 象 同飛 43 象 同玉 54 象  
 同香 53 象 同象 52 象 同玉 43 象 同象  
 53 象 同角上 42 象 同玉 52 象 同象 43  
 象 同飛寄 33 象 同飛上 32 象 同飛上 31  
 象 同玉 42 象 同飛寄 32 象 同角上 21 象  
 同玉 31 象 同角 22 象 同金 11 象 同飛  
 12 象 同金 22 象 同角 31 象 同玉 21 象

同角 32 象 同飛寄 42 象 同玉 31 象 同飛  
 32 象 同玉 42 象 同飛 43 象 同飛寄 33  
 象 同角上 22 象 同玉 32 象 同角引 23 象  
 同金 12 象 同飛引 13 象 同金 23 象 同角  
 上 32 象 同玉 22 象 同角 33 象 同飛 43  
 象 同飛上 42 象 同玉 32 象 同飛上 31 象  
 同玉 42 象 同飛寄 32 象 同角上 21 象 同  
 玉 31 象 同角 22 象 同飛 12 象 同玉 21  
 象 同飛引 22 象 同玉 12 象 同角 23 象  
 同飛 33 象 同玉 22 象 同飛引 23 象 同玉  
 33 象 同角 24 象 同金 13 象 同玉 23 象  
 同角引 14 象 同金 24 象 同玉 13 象 同金  
 14 象 同銀 25 象 同飛 15 象 同玉 24 象  
 同飛 25 象 同玉 15 象 同銀引 26 象 同飛  
 16 象 同銀 15 象 同玉 25 象 同銀引 16  
 象 同飛 26 象 同玉 15 象 同飛 16 象 同  
 象 27 象 同桂成 35 象 同玉 26 象 同銀  
 25 象 同玉 35 象 同銀 26 象 同象寄 16  
 象 同飛 15 象 同象 26 象 同飛 16 象 同  
 玉 25 象 同飛引 26 象 同象引 17 象 同圭  
 27 象 同玉 16 象 同圭 17 象 同象引 28  
 象 同桂成 36 象 同玉 27 象 同象上 26 象  
 同玉 36 象 同象 27 象 同象寄 17 象 同圭  
 16 象 同象引 27 象 同圭寄 17 象 同玉  
 26 象 同圭 27 象 同象引 18 象 同圭 28  
 象 同玉 17 象 同圭引 18 象 同と 19 象  
 同と寄 29 象 同と右 39 象 同歩成 38 象  
 同玉 28 象 同と引 29 象 同と右 39 象 同  
 と右 49 象 同象 48 象 同玉 38 象 同象引  
 49 象 同桂右成 57 象 まで 861 手

詰上り

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引
二	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引
三	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引
四	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引
五	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引
六	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引
七	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引
八	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引
九	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引	飛	引

## 【解説】

酔象が持駒に 431 枚、盤上に 6 枚という規格外の大作。しかも本作は単純に規模が大きだけでなく、的確な解図方針の立案と、それを最適な手順で実現するための精緻な比較考量が求められる超難解作です。さて、どこから説明したものやら……

とりあえずは、本作の投稿と出題までの経緯についてのお話から始めましょう。この作品が最初に投稿されたのは 2 月 14 日。このときは、使用する酔象は 257 枚、手数は 501 手でした。作者曰く、

OFM 第 155 回出題の貴作を解いた後、この手のものはさらに複雑化・長手数化させることができるのではないかと思います。作ってみました。その結果、上図の通り 80 枱配置で 500 手越えと、予想もしていなかった物ができました。ただ、以下の 2 点の問題があります。

### ①酔象を 257 枚使用している

現在の制限である 255 枚を越えてしまいました。このままだと fm で検討できないので、初形から 4 手進めた所から検討させています。なお、初形から 4 手進めた所までは 1 通りしかないのは調査済みです。

### ②左上の部分で、OFM 第 155 回出題の作品に出てきた 30 手サイクルの趣向とほとんど同じ趣向（酔象 ver）が 2 サイクル（30 手×2）ある

これがこの作品の 1 番の問題です。既出の趣向手順を果たして使ってよいか？ということです。出すとしても作者である七郎さんの許可が必要だと思い、投稿を兼ねての質問です。

確かに第 155 回出題に似た部分（上下反転すると一致する部分）はありましたが、主となる部分はまったく別の機構であり、内容も遙かに複雑で高度なものになっていました。ですから、即座に採用を決め、類似部分があっても問題ない旨の返信をしました。

その後、改良を重ねる度に酔象の数も増えていきましたが、ここで問題になったのが検討で

す。一番安心なのは fm で取り扱える駒数を増やしてもらうことでしたが、次郎さんに問い合わせたところ修正量が半端ではないことが分かり断念。作者には「部分問題」に分割して検討してもらうことにしました。また、筆者自身は「秘策」として、Worst1.exe（最悪詰検討プログラム）のソースを取り出し、これを協力詰検討プログラムに変更、取扱い枚数を拡張し、更に金の利きを酔象の利きに改変した特別版を作って検討を行いました（金はと金で代用）。しょせん間に合わせのプログラムであり、速度も遅く信頼性も低いのですが、まあ気休めにはなりました。（せっかくなので、このコードは何らかの形で活かしたいと思います。）

さて、楽屋裏の話はこのくらいにして作品の内容に移りましょう。

本作の一見して分かる特徴は盤面全体に敷き詰められた大量の駒、そして 1 箇所だけの空きマスでしょう。そして空きマスに酔象を打って王手するたびに、同○とするしか応手がなく、また 1 箇所だけの空きマスがある状態になることも分かります。更に、持駒の数と手数を比較するとこの状態は最終手まで続くことが予想されます。つまりこれは一種のスライドパズルです。ただし、詰将棋特有の「王手義務」、そして酔象の利きの特徴から、次のような条件を伴ったスライドパズルであることが言えます。

**条件 1：動かす駒は玉か玉の周辺の駒だけである**

**条件 2：玉の周辺以外、あるいは真後ろに空きマスを作ってはならない**

条件 2 は酔象で王手ができるように保つための制約ですが、これは様々な派生条件を生み出します。例えば、

**条件 2'：玉は真っ直ぐ前に進んではならない。真っ直ぐ前に行きたいときは、まず斜め上に進んで元の位置を埋めてから横に進む。**

といった具合です。当然、他の駒に対する法則や、単独あるいは複数の駒が絡む法則が派生してきます。おそらく、解図のためにある程度試行錯誤すれば、嫌でもいくつかの法則を発見することになるでしょう。そして、駒の移動方法

に慣ればもう持駒の酔象のことは忘れても構いません。盤上の駒の入れ替えだけに集中すれば良いのです。

さて、駒の入れ替え方は分かったことにして、今度はゴールを探しましょう。盤面一杯に敷き詰められた駒を良く見ると、67に攻方の飛が鎮座しており、玉を48に移動させその斜め右下の57を空ければ、そこに酔象を打って詰むことが分かります。従って、駒を入れ替えながら玉を69から48に移動する本作のストーリーが見えてきます。更に、盤上で動きそうな駒と動きそうにない駒を分けて考えると盤上を時計回りに巡る中、5筋付近で中央を蛇行する大まかな移動コースが想定できると思います。それを図に表してみましよう

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	角	飛	香	香	香	飛	角	金	一
飛	飛	角	角	香	角	飛	角	飛	二
角	桂	飛	飛	飛	飛	角	飛	飛	三
角	桂	香	飛	飛	香	角	角	角	四
角	象	香	香	角	香	桂	銀	飛	五
桂	桂	象	香	桂	香	桂	銀	飛	六
桂	桂	象	桂	角	桂	象	象	象	七
歩	歩	歩	象	象	象	象	象	象	八
王			王	王	王	王	王	王	九

図1. 玉の移動コース (想定)

おやおや！？途中で線が途切れて点線になってしまいましたよ！  
これは実際に入れ替えを行って移動させようと思えば分かることですが、42角が強力なストッパーになっていて、このコースに沿った3筋方面への脱出を妨害しているのです。実際に玉がこの付近に来たときの図を見ていただきますよう。

5	4	3
皇	皇	飛
皇	角	飛
	王	飛

図2. 玉が43に来た形

ここで「53象 同角」とすると玉の直下に空所ができて失敗ですし、「53象 同香 52象 同玉 43象 同飛」と進むと玉の周辺以外に空所ができて失敗です。

同様に玉が44地点から33地点に進入する経路も、33飛を動かすために43地点を空にすることができず失敗します。

さあ困ったことになりました。どうやったら3筋から先に行けるのでしょうか？

ただ、もう一度図をよく見ると一縷の望みが残っていることに気付きます。最初に動きそうにない駒に分類した駒のうち、52香だけは動かせる可能性があるのです。もし、52香の移動に成功すれば中央部付近を蛇行せず、横移動で4筋を突破することもできるでしょう。

ところが、その実現には2つの大きな問題点が壁として立ちはだかります。

**問題点1** : 52香が動いた穴を何で埋めるのか？

**問題点2** : 52香を53に動かしただけでは却って邪魔になる。54まで動かさなくてはならない。

まずは問題点1から考えてみましょう。52香を動かす直前の図を考えます。

6	5	4
皇	皇	皇
王	皇	角
?		飛

図3. 52香を動かす直前の形

ここで「？」が飛や角だったらどうなるでしょ



う？

まず「？」が飛の場合、「53 象 同香 52 象 同玉 62 象 同飛 63 象 同玉 52 象 同飛」で、玉の真後ろに空所ができて失敗です。

6	5	4
香	香	香
	飛	角
玉	香	飛

図4. 失敗図（?=飛の場合）

次に「？」が角の場合を考えます。今度は手順を逆に進め、2手前の形を考えます。すると玉の周辺以外に空所ができてはいけないという性質から、次の形しかないことが分かります。

6	5	4
香	香	香
	香	角
角	玉	飛

図5. 失敗図（?=角の場合）

これは既に失敗図です。更にこの2手前は62から駒が移動して来るよりないのですが、角は真っ直ぐ前に進めないのです。

このようにして、手順を順方向あるいは逆方向に進めていくと「？」の持つべき性質が明確になります。そう、「？」が酔象であれば上記の難点は両方とも解消されるのです。ここから「問題点1を解消するために、初形で85地点に居る酔象を63まで運ぼう」という解図方針が立てられることになります。

さて、問題はまだまだ一つ残っていましたね。そう、52香を53から54に運ぶ方法です。上の考察で63酔象の形が確定したので、そこから手順を進め、それに周辺の駒を付け加えます。

6	5	4
香	香	香
飛	香	角
玉	香	飛
飛		金
香	角	香

図6. 53香移動後の図

「何で44の駒が金なの？」という質問が来そうですが、これは説明の都合です。後で説明しますので、まずはこの図を起点に手順を追ってください。

ここから香を54に動かし、玉の3筋への突破を図ります。

54 象 同香 53 象 同象 52 象 同玉 63 象  
同象 53 象 同飛 43 象 同玉 52 象 同飛  
53 象 同角…

あれれ？ また行き詰ってしまいましたね。途中の「53 象 同飛」を「53 象 同角」に変えてもやはりダメです。いきなり横に移動する強行突破は無理のようです。

でも、ここで諦めてはいけません。通路は既に開いており、ちょっと遠回りすればちゃんと通り抜けられるのです。

54 象 同玉 63 象 同飛 64 象 同角 55 象  
同金 44 象 同飛 43 象 同玉 54 象 同香  
53 象 同象 52 象 同玉 43 象 同象 53 象  
同角 42 象 同玉 52 象 同象 …

今度は大丈夫。3筋は飛の壁ですからこの後、「43 象 同飛」から入れ替えを行えば3筋に抜けることができます。

さて、上の手順が巧くいったのはなぜでしょう？ 直接的には使い勝手の良い酔象を6筋ではなく4筋に廻せたのが成功の要因ですが、それには玉が少し迂回しなければなりません。そしてその迂回を可能にしたのが44金の配置です。もし、44飛の形なら上の手順の途中「55 象 同金」ができずに迂回も失敗します。

もし、これだけだなら44地点に置く駒は金

ではなく角でも良いことになりそうですが、別の要因で 44 金であるべき理由が生じます。図 6 の更に 4 手前を考えてみましょう。

7	6	5	4
飛	香	香	香
飛	飛	象	角
	王	香	飛
香	角	飛	金
香	香	角	香

図 7. 図 6 の 4 手前の図

図 7 から「73 象 同角 64 象 同飛」で図 6 になります。ここで 44 金・55 角・64 角の 3 枚に注目してください。もしこれが 44 角・55 角・64 角の形だとしたら、それを実現するにはかなり手間が掛かるでしょう。（注：実はここ厳密に確認していません。）ここからは可能・不可能の二分法の話ではなく、どちらがより効率的かという量的比較の問題になります。

やや話が長くなりましたが、玉が 4 筋の壁を突破するためのフォーメーションがこれで確定しました。

7	6	5	4
飛	香	香	香
飛	王	香	角
飛	象		飛
香	角	飛	金
香	香	角	香

図 8. 4 筋突破態勢

ポイントとなる 4 つの駒の配置を赤紫色で示しました。実を言うと、この形をどうやって組み上げるかというのがまた厄介な問題なのですが、とりあえず最大の難所を抜ける目処は立ちましたね。

ここで改めて本作の構成を俯瞰的に見てみましょう。大まかにいうと、本作は次の 3 つの部分

に分けることができます。

序奏：玉を 9 段目から 2 段目に運ぶまでの手順

主部：4 筋の壁を突破するまでの手順

収束：玉を 48 まで運ぶ手順

本作のハイライトは何と言っても主部の摩訶不思議な手順ですが、序奏や収束にも面白いアイデアがたくさん盛り込まれているので、以下は手順を追いながら主な見所を拾っていきましょう。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	角	飛	香	香	香	飛	角	金	一
飛	飛	角	角	香	角	飛	角	飛	二
角	桂	飛	金	飛	飛	角	角	飛	三
角	桂	香	飛	飛	香	角	角	飛	四
角	象	香	香	角	香	桂	角	飛	五
桂	桂	象	香	桂	香	桂	角	飛	六
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	象	象	七
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	象	象	八
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	象	象	九
と	と	王		と	と	と	と	と	

初形～ 96 手目：序奏

真っ直ぐ後ろに下がれないので、横→斜めの順に下がります。

これが下がる時の基本動作ですが、途中で桂の移動を入れるため 1 回余分に横移動が必要になります。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	角	飛	香	香	香	飛	角	金	一
飛	王	角	角	香	角	飛	角	飛	二
飛		飛	金	飛	飛	角	角	飛	三
象	角	香	飛	飛	香	角	角	飛	四
桂	角	香	香	角	香	桂	角	飛	五
桂	角	象	香	桂	香	桂	角	飛	六
桂	と	象	飛	桂	角	桂	象	象	七
と	桂	桂	桂	歩	歩	歩	象	象	八
と	桂	と	と	と	と	と	と	と	九

**97 手目～118 手目：主部（前半）**

ここから4筋突破の態勢を作るための作業が始まります。94 象を 63 に据えたいので、まずは 94 象を 84 へ移動させます。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	飛	飛	香	香	香	飛	飛	金	一
飛	王	飛	飛	香	飛	飛	飛	飛	二
飛		飛	金	飛	飛	飛	飛	飛	三
飛	象	香	飛	飛	香	飛	角	角	四
桂	飛	香	香	角	香	桂	銀	飛	五
桂	飛	香	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	と	香	飛	桂	角	桂	象	象	七
と	圭	圭	香	歩	象	歩	象	象	八
と	圭	と	と	と	と	と	と	と	九

**119 手目～150 手目：主部（前半）**

すぐにでも象を動かしたいところですが、ここはまず下準備で 81 角と 92 飛を入れ替えます。必要に応じ飛と角を入れ替える手順はこの後も頻りに登場します。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	飛	飛	香	香	香	飛	飛	金	一
飛	王	飛	飛	香	飛	飛	飛	飛	二
飛		飛	金	飛	飛	飛	飛	飛	三
飛	象	香	飛	飛	香	飛	角	角	四
桂	飛	香	香	角	香	桂	銀	飛	五
桂	飛	香	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	と	香	飛	桂	角	桂	象	象	七
と	圭	圭	香	歩	象	歩	象	象	八
と	圭	と	と	と	と	と	と	と	九

**151 手目～170 手目：主部（前半）**

飛と角を入れ替えた効果で 84 象を 93 へ移動させることができました。

この後更に 92 → 83 → 73 と移動させたいのですが…

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	飛	飛	香	香	香	飛	飛	金	一
飛	王	飛	飛	香	飛	飛	飛	飛	二
象		飛	金	飛	飛	飛	飛	飛	三
飛	飛	香	飛	飛	香	飛	角	角	四
桂	飛	香	香	角	香	桂	銀	飛	五
桂	飛	香	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	と	香	飛	桂	角	桂	象	象	七
と	圭	圭	香	歩	象	歩	象	象	八
と	圭	と	と	と	と	と	と	と	九

**171 手目～228 手目：主部（前半）**

82 象を実現するついでに 63 金を 64 へ移動させるのが重要なポイント。これを怠ると象を 63 に移動させるときに金が影響を受け、71 まで下がらされてしまうので、前もって待避しておくのです。（それでも損するのは僅か 14 手なのですが…）

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	飛	飛	香	香	香	飛	飛	金	一
象	王	飛	飛	香	飛	飛	飛	飛	二
飛		飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	三
飛	飛	香	金	飛	飛	香	角	角	四
桂	飛	香	香	角	香	桂	銀	飛	五
桂	飛	香	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	と	香	飛	桂	角	桂	象	象	七
と	圭	圭	香	歩	象	歩	象	象	八
と	圭	と	と	と	と	と	と	と	九

**229 手目～254 手目：主部（前半）**

ようやく象を 73 まで移動させることに成功しました。次に象を 63 に移動させることを目標にします。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	角	飛	香	香	香	飛	角	金	一
飛	玉	角	飛	香	角	飛	角	飛	二
角		象	飛	飛	飛	飛	角	飛	三
飛	角	香	金	飛	飛	香	角	角	四
桂	角	香	香	角	香	桂	銀	飛	五
桂	角	香	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	玉	香	飛	桂	角	桂	象	象	七
玉	圭	圭	香	歩	象	歩	象	象	八
玉	圭	玉	玉	玉	玉	玉	玉	玉	九

255手目～290手目：主部（前半終了）

ついに象を 63 まで移動させることに成功しました。他にも区切り方はあると思いますが、ここで主部の前半の終了としておきましょう。ここから本格的に4筋突破の態勢を整えます。44 金・55 角・64 角の形を作るには角が足りないので、角を左辺から調達します。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	角	飛	香	香	香	飛	角	金	一
飛	玉		飛	香	角	飛	角	飛	二
角	角	飛	象	飛	飛	飛	角	飛	三
飛	角	香	金	飛	飛	香	角	角	四
桂	角	香	香	角	香	桂	銀	飛	五
桂	角	香	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	玉	香	飛	桂	角	桂	象	象	七
玉	圭	圭	香	歩	象	歩	象	象	八
玉	圭	玉	玉	玉	玉	玉	玉	玉	九

291手目～314手目：主部（後半）

くると玉の前方を回って 73 に角を持ってきます。結果的に 93 角と 73 飛が入れ替わった格好です。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	角	飛	香	香	香	飛	角	金	一
飛	玉		飛	香	角	飛	角	飛	二
飛	角	角	象	飛	飛	飛	角	飛	三
飛	角	香	金	飛	飛	香	角	角	四
桂	角	香	香	角	香	桂	銀	飛	五
桂	角	香	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	玉	香	飛	桂	角	桂	象	象	七
玉	圭	圭	香	歩	象	歩	象	象	八
玉	圭	玉	玉	玉	玉	玉	玉	玉	九

315手目～370手目：主部（後半）

玉は斜めに移動し、73 角を 64 に送り込みます。このとき金は 53 地点に待避します。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	角	飛	香	香	香	飛	角	金	一
飛	玉		飛	香	角	飛	角	飛	二
飛	角	飛	象	飛	飛	飛	角	飛	三
飛	角	香	金	飛	飛	香	角	角	四
桂	角	香	香	角	香	桂	銀	飛	五
桂	角	香	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	玉	香	飛	桂	角	桂	象	象	七
玉	圭	圭	香	歩	象	歩	象	象	八
玉	圭	玉	玉	玉	玉	玉	玉	玉	九

371手目～396手目：主部（後半）

角の調達は続きます。また、玉の前方を回って 84 角を 73 に持ってきます。これで準備完了？ いいえ、もう一仕事残っています。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	馬	飛	香	香	香	飛	馬	金	一
飛	王		飛	香	馬	飛	馬	飛	二
飛	馬	馬	金	飛	飛	馬	飛	飛	三
飛	飛	香	馬	飛	香	馬	馬	四	四
桂	馬	香	馬	香	桂	銀	飛	五	五
桂	馬	皇	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	と	香	飛	桂	馬	桂	象	七	七
と	圭	圭	香	歩	象	歩	象	八	八
と	圭	と	と	と	と	と	と	九	九

**397手目～462手目：主部（後半）**

調達した2枚の角を利用して63象と53金を入れ替えます。

これで本当にすべての準備が完了しました。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	馬	飛	香	香	香	飛	馬	金	一
飛	王		飛	香	馬	飛	馬	飛	二
飛	馬	馬	金	飛	飛	馬	飛	飛	三
飛	飛	香	馬	飛	香	馬	馬	四	四
桂	馬	香	馬	香	桂	銀	飛	五	五
桂	馬	皇	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	と	香	飛	桂	馬	桂	象	七	七
と	圭	圭	香	歩	象	歩	象	八	八
と	圭	と	と	と	と	と	と	九	九

**463手目～598手目：主部（後半）**

すべての準備が整ったので、ここからはもう8筋には戻りません。

一気に44金・55角・64角の形を作ります。

やや長手数ですが、ここはぜひ駒の動きをご自身の目でご確認下さい。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	馬	飛	香	香	香	飛	馬	金	一
飛	馬	飛	王		馬	飛	馬	飛	二
飛	馬	飛	象	香	飛	馬	飛	飛	三
飛	飛	香	馬	金	香	馬	馬	四	四
桂	馬	香	馬	香	桂	銀	飛	五	五
桂	馬	香	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	と	香	飛	桂	馬	桂	象	七	七
と	圭	圭	香	歩	象	歩	象	八	八
と	圭	と	と	と	と	と	と	九	九

**599手目～646手目：主部（後半終了）、収束部の開始**

遂に念願の4筋突破を達成。

ここから収束に入ります。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	馬	飛	香	香	香	王	馬	金	一
飛	馬	飛	象		飛	馬	飛	飛	二
飛	馬	馬	飛	馬	飛	飛	馬	飛	三
飛	飛	香	馬	香	飛	香	馬	四	四
桂	馬	香	馬	金	香	桂	銀	飛	五
桂	馬	香	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	と	香	飛	桂	馬	桂	象	七	七
と	圭	圭	香	歩	象	歩	象	八	八
と	圭	と	と	と	と	と	と	九	九

**647手目～670手目：収束部（前半）**

最大の難関は突破したものの、まだ難所は残っています。14角24角の2枚が4段目から上への脱出を阻んでいるからです。

ここを突破するには11金の助力が必要ということで、まず11金を12へ移動させます。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	馬	飛	香	香	香		馬	飛	一
飛	馬	飛	飛	象	王	飛	馬	金	二
飛	馬	馬	飛	馬	飛	飛	馬	飛	三
飛	飛	香	馬	香	飛	香	馬	馬	四
桂	馬	香	香	金	桂	香	飛	銀	五
桂	馬	皇	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	と	皇	飛	桂	馬	桂	象	象	七
と	圭	圭	皇	歩	象	歩	象	象	八
と	圭	と	と	と	と	と	と	と	九

671手目～704手目：収束部（前半）

引き続き 12 金を 13 へ移動させます。  
これでやっと 4 段目を突破する準備が整いました。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	馬	飛	香	香	香		馬	飛	一
飛	馬	飛	飛	象	王	飛	馬	飛	二
飛	馬	馬	飛	馬	飛	飛	馬	金	三
飛	飛	香	馬	香	飛	香	馬	馬	四
桂	馬	香	香	金	桂	香	飛	銀	五
桂	馬	皇	香	桂	香	桂	銀	飛	六
圭	と	皇	飛	桂	馬	桂	象	象	七
と	圭	圭	皇	歩	象	歩	象	象	八
と	圭	と	と	と	と	と	と	と	九

705手目～861手目：収束部（後半）

4 段目を突破した後も、粘り強い入れ替え手順は続きます。

桂を動かしてそこに駒を埋め進路を作っていく作業は序奏部の手順に似ていますが、進路の先にある桂を動かすのではなく、横にある桂を動かすため、より複雑な作業となっています。そして玉が 48 に達したところで、ようやくこの巨大な迷路のゴールに辿り着きました。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	馬	飛	香	香	香	馬	飛	飛	一
飛	馬	飛	飛	象	飛	馬	飛	馬	二
飛	馬	馬	飛	馬	飛	馬	馬	金	三
飛	飛	香	馬	香	飛	香	飛	銀	四
桂	馬	香	香	金	桂	香	銀	飛	五
桂	馬	香	香	桂	香	桂	象	圭	六
圭	と	香	飛	象	馬	桂	象	圭	七
と	圭	圭	香	歩	王	象	と	と	八
と	圭	と	と	と	圭	と	と	と	九

詰上り

以上、数多くのアイデアが盛り込まれ、ざっと手順を追うだけでも大変な本作ですが、やはり白眉は主部の摩訶不思議な入れ替え手順ですね。特に上がったたり下がったりする金の動きは玄妙で、手順を一見しただけでは何をしているのか意味を汲み取るのが難しいでしょう。本作は人智を越える詰将棋の深淵を覗き込むような、畏怖に近い感情を呼び覚ます傑作だと思います。今回の解説で本作の内容を十分に説明できているとは思えませんが、そこはぜひ読者の皆様ご自身の研究により補っていただきたいと思います。

また、この難問に挑戦し見事正解に辿り着いた、渡辺さんとたくぼんさんの両氏には心から敬意を表したいと思います。特に渡辺さんは、入れ替えの最適解を求めるときの考え方の筋道を長評で示してくださったので、読者の皆様はぜひ参考にさせていただきたいと思います。

【正解者及びコメント】（正解 2 名：到着順）

渡辺さん

先手の手番は空いているマスに象を打つだけです。最終手以外は後手の手のみ書かせて頂きます。

すなわち、「69 玉、79 歩成、…」は「69 象、同玉、79 象、同歩成、…」と読み替えて下さい。

■解答

69 玉、79 歩成、78 玉、69 と右、79 と右、89 歩成、88 と、89 と左、79 桂成、

87 と 88 玉、78 圭、79 と右、89 と右、  
99 歩成、98 と引、99 と寄、89 桂成、  
97 玉、88 と右、98 桂成、86 と、87  
玉、97 圭、98 と寄、88 桂成、96 玉、  
87 と、86 象、85 玉、96 象、86 角、  
95 玉、85 象、96 桂、84 玉、95 象、  
85 角、94 玉、84 象、95 桂、83 玉、  
94 象、84 角、(88 手)

93 玉、83 飛上、82 玉、93 飛寄、83 飛  
左、73 玉、82 飛引、83 玉、73 角引、  
84 象、94 飛、93 玉、83 飛、82 玉、  
93 飛寄、83 角、72 玉、82 角、73 角  
左、62 玉、72 飛、71 玉、62 飛、72 角  
上、81 玉、71 角、82 飛、92 玉、81 飛  
引、82 玉、92 角、83 飛、93 玉、82 飛  
引、83 玉、93 象、84 角、73 玉、83  
飛、82 玉、73 飛、83 角右、92 玉、82  
飛、81 玉、92 飛寄、82 角、71 玉、81  
角、72 飛寄、62 玉、71 飛、72 飛引、  
73 金、63 飛寄、53 玉、62 飛引、63  
玉、53 飛引、54 飛右、64 金、73 飛、  
72 玉、63 飛右、73 角上、82 玉、72 角  
引、83 象、93 飛上、92 象、83 飛、93  
象、92 玉、82 象、93 飛寄、83 玉、92  
飛引、93 角、84 角左、73 玉、83 象、  
82 玉、73 象、83 角、72 飛上、71 玉、  
82 飛左、72 飛左、62 玉、71 飛、72  
玉、62 象、73 飛、63 象、62 玉、72  
飛、71 玉、62 飛、72 飛右、82 玉、71  
飛、72 角引、83 飛、73 玉、82 飛引、  
83 玉、73 角、84 角右、93 玉、83 飛、  
82 玉、93 飛寄、83 角、72 飛上、71  
玉、82 飛左、72 飛左、62 玉、71 飛、  
72 象、63 飛、53 玉、62 飛、63 金、  
64 飛、54 金、63 玉、53 金、54 飛右、  
64 角上、73 玉、63 飛、62 玉、73 飛、  
63 象、72 飛上、71 玉、62 飛、72 飛  
右、82 玉、71 飛、72 角引、83 飛左、  
73 玉、82 飛引、83 玉、73 角、84 飛、  
94 飛上、93 玉、83 飛上、82 玉、93 飛  
寄、83 角、72 飛上、71 玉、82 飛左、  
72 飛左、62 玉、71 飛、72 象、63 金、  
53 玉、62 金、63 玉、53 角引、64 角  
右、73 象、72 玉、63 金、62 象、73  
金、63 玉、72 金、73 角、64 角左上、  
53 玉、63 象、62 玉、53 象、63 金、  
72 飛上、71 玉、62 飛、72 飛右、82

玉、71 飛、72 玉、82 角、73 金、63  
玉、72 金、73 角引、64 象、53 飛引、  
54 象、64 角上、(88 手 +394 手 = 482 手)

73 玉、63 飛上、62 玉、73 飛、63 金、  
72 飛引、73 金、63 飛、53 玉、62 飛  
引、63 象、54 飛、44 玉、53 飛引、54  
玉、44 角、55 角右、64 象、63 玉、54  
象、64 金、73 玉、63 飛上、62 玉、73  
飛寄、63 飛左、53 玉、62 飛引、63 象、  
54 金、64 玉、53 金、54 玉、64 角、  
55 角左、44 玉、54 金、53 玉、44 金、  
54 象、63 飛上、62 玉、53 飛右、63 飛  
右、73 玉、62 飛引、63 玉、73 角引、  
64 象、54 飛、53 象、64 角上、73 玉、  
63 飛、62 玉、73 飛寄、63 象、53 香、  
52 象、63 飛、73 玉、62 飛引、63 玉、  
(482 手 +126 手 = 608 手)

73 角引、64 飛、54 玉、63 飛引、64 角  
引、55 金、44 飛、43 玉、54 香、53  
象、52 玉、43 象、53 角上、42 玉、52  
象、(608 手 +30 手 = 638 手)

43 飛寄、33 飛上、32 飛上、31 玉、42  
飛寄、32 角上、21 玉、31 角、22 金、  
11 飛、12 金、22 角、31 玉、21 角、  
32 飛寄、42 玉、31 飛、32 玉、42 飛、  
43 飛寄、33 角上、22 玉、32 角引、23  
金、12 飛引、13 金、23 角、32 玉、22  
角、33 飛、43 飛上、42 玉、32 飛上、  
31 玉、42 飛寄、32 角上、21 玉、31  
角、22 飛、12 玉、21 飛引、22 玉、12  
角、23 飛、33 玉、22 飛引、23 玉、33  
角、24 金、13 玉、23 角、14 金、24  
玉、13 金、(638 手 +108 手 = 746 手)

14 銀、25 飛、15 玉、24 飛、25 玉、  
15 銀引、26 飛、16 銀、15 玉、25 銀  
引、16 飛、26 玉、15 飛、16 象、27 桂  
成、35 玉、26 銀、25 玉、35 銀、26 象  
寄、16 飛、15 象、26 飛、16 玉、25 飛  
引、26 象引、17 圭、27 玉、16 圭、17  
象引、28 桂成、36 玉、27 象上、26 玉、  
36 象、27 象寄、17 圭、16 象引、27 圭  
寄、17 玉、26 圭、27 象引、18 圭、28  
玉、17 圭、18 と、19 と寄、29 と右、  
39 歩成、38 玉、28 と引、29 と右、39

と右、49 象、48 玉、38 象引、49 桂成、  
(746手 +114 手 = 860 手)  
57 象まで。

これは完全に高度な入れ換えパズルでした。  
とくに 73 にあるスイッチの切替で道が繋がったり切れたりする所、巧妙に事前に駒を入れ替えておく所など、どうやってこういう仕組みを思いついたのか、どうやって最短手順が一通りであると確信したのか、作者の論理を楽しみにしたいと思います。一応私の解図のポイントを紹介します。盤面をよく見ると 6 筋→9 筋→3 段目→1 筋→8 段目→48 で 57 象までの詰みということは容易に推測されます。また、注意深く最小手順を探す必要はありますが、最初の 84 角までの 88 手と最後の 24 玉、14 空の状態からの 115 手は分離して考えられます。残りの上辺突破 658 手が主題となりますが、7、6、5 筋は少し考えると突破できますが 4 筋突破が最大の難関です。

4 筋の突破には 42 角の移動が必要、そのためには「52 玉、53 空」の状態を作らないといけないので 52 香を 54 に移動しないとけない。

5 4  
○○1  
玉角 2  
? 3  
香飛 4

<第1図> すべて後手の駒、○は石同然の駒

その後「53 角、42 玉、52 ?」と指せないといけないので、?に斜め後ろに行ける駒を置く必要がありますが、?が角だとすると、52 → 43 だと玉を 53 に置かねばならず、玉尻が空き、54 → 43 だと、香を 55 に遣るのは 3 手逆算すれば無理と分かるので、香は 53 しかなく、すると玉は 44 しかなくなって玉尻が空いて矛盾。よって? = 象と分かります。

これから逆算して行くと、

7 6 5 4  
■○○○1  
■象角 2  
玉香飛 3  
○角 Y X 4  
○○角○5

<第2図> すべて後手の駒、○は石同然の駒、  
■は不明  
X = 金、角  
Y = 金、飛

第2図となり、ここから

73 角、64 Y、54 玉、63 Y、64 角、  
55 X、44 飛、43 玉、54 香、53 象、  
52 玉、43 象、53 角上、42 玉、52 象、  
で第1図を経由して第3図となります。

7 6 5 4  
■○○○1  
■象玉 2  
角 Y 角 3  
○角香飛 4  
○○X○5

<第3図> すべて後手の駒、○は石同然の駒、  
■は不明  
X = 金、角  
Y = 金、飛

この図からですと 108 手で「24 玉、14 空」の状態まで進むことができるので、30 手戻した第2図を 608 手目までに実現するのが目標となります。ここで、X = 角、Y = 飛とすると第2図からさらに遡ろうとすると、52 香、53 Y となって詰まるので無理になります。よってどちらかは金であることが分かります。また、44 の飛を退かして X を置くには、まず「54 玉、44 空」の状態から 44 角とする必要があります、このときに 64 に角を置いていないと 55 に飛または金が詰まって 44 の角は元に戻すしかなくなるので、「64 角上」としなければならぬ。また、この「54 玉、44 空」の状態から逆算すると、

7 6 5 4  
■○○○1  
■玉香角 2  
■ Y 飛 3  
○角 X 飛 4  
○○角○5

<第4図> すべて後手の駒、○は石同然の駒、  
■は不明  
X = 角 or 象  
Y = 飛 or 金



第4図のようになり、ここから

63 Y、53 玉、62 Y、63 X、54 飛、  
44 玉、53 飛引、54 玉、44 角、55 角  
右、64 X、63 玉、  
で「54 玉、44 空」の状態からの44 角を得  
ます。さらに、この棋譜の中でXは前に進んで  
いるのでXは角ではなくて象であることが分か  
ります。

以上から目標は、

[1] まず「64 角上」とすること

[2] 次に「54 象」の状態で「64 角上」とす  
ることとなります。

まず、[1] を目指すには73 に角を置いて53  
玉とすれば良く、

・7筋突破工作には73 は角でなければならない  
い

・6筋突破工作には73 は飛でなければならない  
という制限から、

「73 を飛にする」→「7筋突破」→「別経路  
で戻る」→「73 を角にする」→「別経路で  
再び6筋へ」→「73 を飛にする」→「6筋突  
破工作」→「73 を角にする」→「6筋突破  
して53 へ」→「64 角上」  
というストーリーで、

93 玉、83 飛上、82 玉、93 飛寄、83 飛  
左、73 玉、82 飛引、83 玉、73 角引、  
84 象、94 飛、93 玉、83 飛、82 玉、  
93 飛寄、83 角、72 玉、82 角、73 角  
左、62 玉、72 飛、71 玉、62 飛、72 角  
上、81 玉、71 角、82 飛、92 玉、81 飛  
引、82 玉、92 角、83 飛、93 玉、82 飛  
引、83 玉、93 象、84 角、73 玉、83  
飛、82 玉、73 飛、83 角右、92 玉、82  
飛、81 玉、92 飛寄、82 角、71 玉、81  
角、72 飛寄、62 玉、71 飛、

72 玉、62 金、---(X)

63 飛右、73 角上、82 玉、72 角引、83  
象、93 飛上、92 象、83 飛、93 象、92  
玉、82 象、93 飛寄、83 玉、92 飛引、  
93 角、84 角左、73 玉、83 象、82 玉、  
73 象、83 角、72 飛、71 玉、82 飛左、  
72 金、62 玉、71 金、72 玉、62 象、  
73 飛、63 象、62 玉、72 金、71 玉、

62 金、72 飛、82 玉、71 飛、72 角引、  
83 飛、73 玉、82 飛引、83 玉、73 角、  
84 角右、93 玉、83 飛、82 玉、93 飛  
寄、83 角、72 飛、71 玉、82 飛左、72  
金、62 玉、71 金、72 象、63 飛寄、53  
玉、62 飛、---(Y)

63 玉、53 飛引、54 飛右、64 角上

という最短手順が見付かります。

9 8 7 6 5 4

飛角金○○○1

飛飛象飛香角2

飛角 玉飛飛3

飛角○角飛飛4

桂角○○角○5

<第5図> すべて後手の駒、○は石同然の駒

次に象を54 に運ぶ訳ですが、その前に53 に  
運ばないといけません。

象を53 に近付けるために

73 玉、63 飛上、62 玉、73 飛、

とすると

9 8 7 6 5 4

飛角金○○○1

飛飛象玉香角2

飛角飛 飛飛3

飛角○角飛飛4

桂角○○角○5

<第6図> すべて後手の駒、○は石同然の駒

となります。ここで73 飛が角で53 飛が金だ  
とするとどうでしょう？

1. 73 角、64 角、53 金、62 玉の位置の回  
転で53 金→62 金

2. 62 金と72 象の入れ換え

3. 1の逆

で象が53 に行きます。

63 金、53 玉、62 金、63 玉、53 角引、  
64 角右、73 象、72 玉、63 金、62 象、  
73 金、63 玉、72 金、73 角、64 角左、  
53 玉、63 象、62 玉、53 象、

ではどうやって「73 飛が角で 53 飛が金」にするか？

これが最短という保証はありませんが、効率の良いのはまず、53 を金にするためには、先の手順内で (X) の 2 手を

72 飛引、73 金、63 飛寄、53 玉、62 飛引、63 玉、53 飛引、54 飛右、64 金、73 飛、72 玉、に変更し、(Y) の後に

63 金、64 飛、54 金の 3 手を追加します。

73 の飛を角にするには、これまでの通り、「9 筋方面まで行く」→「84 角と 73 飛を入れ替える」→「戻ってくる」で出来ます。すなわち、

63 象、72 飛上、71 玉、62 飛、72 飛右、82 玉、71 飛、72 角引、83 飛左、73 玉、82 飛引、83 玉、73 角右、84 飛、94 飛上、93 玉、83 飛上、82 玉、93 飛寄、83 角、72 飛上、71 玉、82 飛左、72 飛左、62 玉、71 飛、72 象、

で良い訳です。

そして 53 に象を運んだ後は「63 玉、62 角」としたい所ですが玉尻が空いて不可能なので玉は下から回って 73 角は 82 に下げてから 53 象と 54 飛を入れ替えます。

63 金、72 飛上、71 玉、62 飛、72 飛右、82 玉、71 飛、72 玉、82 角、73 金、63 玉、72 金、73 角引、64 象、53 飛引、54 象、64 角上、

9 8 7 6 5 4  
飛角飛○○○1  
飛角金飛香角2  
飛角 玉飛飛3  
飛飛○角象飛4  
桂角○○角○5

<第7図> すべて後手の駒、○は石同然の駒

これで第7図となり、このあと

73 玉、63 飛上、62 玉、72 飛、とすすんで目標の第4図が具現化します。そこで第4図の通り、

63 飛、53 玉、62 飛引、63 象、54 飛、

44 玉、53 飛引、54 玉、44 角、55 角右、64 象、63 玉、とすると次に 54 象としても詰まってしまいません。

この解決は先に 63 金、72 飛引、73 金として 72 金と 73 飛を入れ替えておけば、54 象、64 金、73 玉、63 飛上、62 玉、73 飛寄、63 飛左、53 玉、62 飛引、63 象、54 金、64 玉、53 金、54 玉、64 角、55 角左、44 玉、54 金、53 玉、44 金、で第2図の上側が完成し、ここでX = 金となるのでY = 飛と確定し、

54 象、63 飛上、62 玉、53 飛右、63 飛右、73 玉、62 飛引、63 玉、73 角引、64 象、54 飛、53 象、64 角上、で 54 に Y = 飛が移動され、あとは象を 52 香の下にもぐりこませれば第2図の完成です。  
73 玉、63 飛、62 玉、73 飛寄、63 象、53 香、52 象、63 飛、73 玉、62 飛引、63 玉、

9 8 7 6 5 4  
飛角飛○○○1  
飛角飛飛象角2  
飛角 玉香飛3  
飛飛○角飛金4  
桂角○○角○5

これで手数を勘定すると無事合っているので万歳！となります。

☆ この渡辺さんからの解答は締切日前日に到着。4月の初めごろには市村さんから白旗を掲げる旨の葉書が届き、解答募集の最終週になっても全然解答が届かなかったので、一時は正解者なしを覚悟したのですが、16日朝にこの解答が届き、ホッと胸をなで下ろしました。更に解答に至る筋道を詳細に語っていただいたので、筆者の解説で不足な分はぜひこれで補っていただけたらと思います。

たくぼんさん

とにかく考え始めて 53,63 辺りでのっちもさっちも行かなくなった。

解答選手権の時に市村さんとお話をしたとき、香を動かさないことにはダメですよ～馬でも

連れてこないと・・・と仰っていたのでそれも考えたが馬は出来ない。

となると 85 象を連れて来て 52 香を動かす飛角金の配置を考えないとダメ。

とにかくひたすら駒を動かした。

63 象型で 52 香を 53 に動かすことに行きついていたが、当初は 63 玉型で 53 香を 54 香としていたため、玉が 42 以降で行き詰ってしまった。

そこで再び考え（実はここが一番悩んだところ）43 玉型で 53 香を 54 香とすることに気が付いた。

52 香→53 香とするときの形が、44 金、54 飛、55 角、63 象、64 角型であればうまくいく。

玉が 42 に行けば（収束はある程度考えていたので）あとは何とかいけました。

手数を勘定すると 900 手超でしたが、90 手くらいまでは自信がありましたので、あとは 600 手位までの最短手順搜索を途中図を使ってひたすら探す作業でした。

手数が合ったときの嬉しかったこと・・・まさに私好みの作品でした。

それにしても 42 玉への道の謎は深かった。その謎解きの 500 手近く掛かる駒の組替えは恐るべき構想でした。（ただ私の場合論理的解法ではないので作者には申し分けない感じが）

また駒も足りないので Kifu for Windows も使えないし、本当に疲れましたがその疲れも吹き飛ばす最高の解後感を味わうことが出来ました。ありがとうございました。

☆ 渡辺さんの解答の翌日（つまり締切最終日）に、たくぼんさんの解答が届きました。この短評を見ると根性派代表らしいローラー作戦で解かれたようですが、実際には定式化されていないだけで、意識的にしろ無意識的にしろかなりのヒューリスティックが解答を導く過程で使われていると思います。この作品を解くのは、単に一つの問題を解くというより、一つ分野を解明するのに近い作業だったと思います。

#### 市村さん（未完）

第 157 回 Onsite Fairy Mate は、残念ながら白旗です。

今月の 3 日に、詰将棋選手権のお手伝いで来広された須川卓二さんにお会いしました。

感じの良い好人物で、話は勿論のこと詰将棋が主体で、その中に、この作品についても話題となりました。

何か、可なり自信ありげなご様子でしたので、多分 1 本取ったのではないかと思います。

私も、刺激を受けまして、再度チャレンジしましたが、残念ながら 100 手以上も超過する手順となり、手順の短縮が時間切れ、ここにギブアップとなりました。

奮戦の模様を記録した解答書を同封しますので、ご笑覧ください。

5 筋の山越えの準備が大変で、敵方の酔象と角の利きを頼りに指し進めるのですが、いまいち、筋に入る感触が得られない状態です。結果稿を楽しみにお待ちしております。

☆ 結果稿をアップロードした後、市村さんからの解答が届きました。未完ながらも解答を送っていただき、ありがとうございます。

手順を確認したところ、序盤で 4 手、収束で 8 手のロスがありましたが、一番大きく作意と異なっていたのは、44 金型ではなく 44 角型で収束に入っていた所でした。そのせいか、5 筋突破時に作意と比べ 96 手余分に手数が掛かっています。

また、解答手順を追ったところ 696 手目で王手が途切れてしまい、前後関係から何とか手順を推測しようとしたのですが、うまくいきませんでした。既に結果稿発表後なのであまり意味がないかもしれませんが、単なる誤記であれば何かのついでに修正版をお送りください。

☆ 解答者ゼロを覚悟した今回の出題ですが、ありがたいことに 2 通の解答をいただきました。その労力に見合うとはとても思えませんが、後ほど賞品を発送させていただきます。次回は WFP 発行に合わせるため明日 19 日（月）の出題を予定しています。またまた空気を読まずに長編を予定していますが、今回の作品に比べたら間違いなく楽勝に感じると思います。

（2010.4.18 七郎）

# 詰将棋メモ

## 推理将棋第 31 回出題解答

担当 タラパパ

出題日 : 2010年 3 月 3 日  
 解答締切 : 2010年 3 月 20 日

### 31・1 初級 ミニベロさん作 久々の三捨利警部 歩で取った駒 9手

「今回の9手で詰んだ事件ですが、空成りがあったようですね」  
 「歩で取った駒を1段目に打ったことも確認されています」  
 「それだけ証拠があれば簡単だよ。君たちで解決したまえ！」

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 歩で取った駒を1段目に打った
- ・ 空成りがあった

※空成りとは言うまでもなく、駒を取らずに成ることです。

### 出題のことば (担当 タラパパ)

歩で取れる駒といえは？

### 推理将棋第 31 回解説 担当 タラパパ

解答者が 11 名に減ってしまいました (汗)。  
 難しすぎたということはないと思うのですが・・・。

### 推理将棋 31 - 1 解答

▲ 7 六歩、▽ 6 二玉、▲ 3 三角不成、▽ 7 二玉、▲ 5 一角成、▽ 6 六角、▲ 同歩、▽ 5 二金右、▲ 6 一角 まで9手

### 詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	駒	角	馬	香	駒	科	皇	一
	飛	王		香					二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
									四
									五
		歩	歩						六
歩	歩			歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

「歩で取った駒」と「空成りがあった」が、意外に厄介な条件。どちらも得な手ではないので、9手では実現しにくそうなのです。それでも9手。だからこそとすべきでしょうか、論理的に導けます。リーグ戦ファンさんの短評を元に解説。

リーグ戦ファン 「後手が打つなら、▲ 76 歩▽ 34 歩▲ 22 角▽? ▲角打▽同歩▲駒取▽ \*1 角 (打) ▲駒打のパターンしかないと思うので、カラ成る暇が全くない。先手が歩で取れるところまで一手で来てくれる後手駒は角しかなくて、 ▲ 76 歩▽? ▲ 33 角不成▽? ▲\*\* 角成▽ 66 角▲同歩 まだがほぼ必然。最終手 ▲ \*1 打で詰む形探して、これはロジカルでした。」

■後手が打つ場合の手順中4手目も、「一段目の駒を動く」に決まりで、この順は「空成りがあった」が満たせません。

先手が打つ場合、歩で一段目に打てる駒を取れるのは7手目しかなく、従って駒打ちは最終手。空成りがあって、飛を取るなら

76 歩、32 飛、33 角不成、??○、??角成 (空成り)、36 飛、同歩、??○、?1飛が必然で、詰ませることは不可能。

すると取る駒は角、取る場所も66で7手目。5手目に王手はかけられず、空成りは5・7手目のどちらか。

なおかつ、先手は角を除くと、歩以外の駒が

取れません。

最終手で一段目に「馬にヒモを付けて」「金の利き以外の場所に」打つなら作意しかありません。

**ミニベロ** 「銀を取って打つ順とどちらにしようか迷いました。9手で1段目にとどめの銀打ちも珍しいので、捨てがたい順です。」

■1段目にとどめの銀打ち。それも有力ですね。

**はてるま** 「歩で取られた駒はおそらく大駒。1段目の駒打ちなら飛車かなと思っいろいろ考えましたが解けず。角ならこの形しかないか・・・と考えたら解けました。ほどよく割り切れていて推論しやすかったです。」

■なぜか一段目というと、飛車を連想しがち。

**たくぼん** 「早めに角を取る順ばかり考えていました。欲深いですねえ」

■私みたいに謙虚にならないと、たくぼんさん。

**渡辺** 「空成でなければ色々あるのですが空成と言われて少し迷いました。「空成があった」の代りに「成る手はなかった」でも面白い問題になるかもしれません。」

■むむ、また新しい問題に化けた?(^^)

**DD++** 「2段目に打つ順はいろいろあるのに、1段目に打つ順はこれしかないのが不思議。」

■歩で取った駒を二段目に打つ9手・・・じゃないですね？

**はなさかしろう** 「シンプルでさりと美しい条件付けなので迷いました。歩で取ったのは角か飛車か。空成りをしたのは先手か後手か。一段目に角を打って詰む形が見えずに36飛を追いかけて、88角成が頭をよぎり...と悩んだ末、もう一度原点に戻ってようやく発見。72までの早逃げと61角の詰上がりが新鮮で9手の奥深さを味わいました。」

■どなたかが言いましたっけ「9手は推理将棋の華」。

**竹野龍騎** 「66歩で角を取るの第一感でしたが、収束形が見えず苦戦しました。44歩や36歩での駒取りも考えた。」

■論理で解けるといっても、収束形が見えないと論理も組めないんですね。

**高坂研** 「第一感は62歩-61歩成-51金だったけど、これじゃ平凡すぎるよねえ。」

■いえいえ、9手でその順は非凡だと思います。

**S.Kimura** 「角を打って成ることばかり考えていたため、ヒントに助けられました。」

■やった！ヒントが役にたつと嬉しい。

**○術師** 「最初は▲76歩△34歩▲22角不成△52玉▲54角△54同歩▲31角成△51角▲53銀まで、という手順が出てきたのですが、気がついたら角の空成がありませんでした。その後も後手玉が左に動く手順ばかり考えていて解けませんでした。空成が王手にならないように早逃げ？する妙手順に気がついてスッキリ。」

■そ、その手順・・・そのうち出題できそうだと思っていたのに・・・(泣)

-----  
正解：12名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん 高坂研さん  
たくぼんさん 竹野龍騎さん DD++さん  
はてるまさん はなさかしろうさん  
○術師さん ミニベロさん  
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

**31-2 中級 渡辺秀行さん作**  
**端に飛成 10手**  
推理将棋新聞より

「第n回推理将棋名人戦七番勝負の第3局は序盤から端に飛が成る急展開で、10手で名人の

玉がトン死する大波乱となった。勝った挑戦者は『5手目が4手目と同じ筋の着手で付き合ってくれたので助かった』と感想を述べている。」

(条件)

- ・ 10手で詰んだ
- ・ 端に飛車が成った
- ・ 5手目は4手目と同じ筋の着手

※ 10手中の○手目は序盤ではない・・・というご意見はなしで(^^)

### 出題のことば (担当 タラパパ)

端に飛車が成る最短手数を見切れれば道が開ける？

### 推理将棋 31-2 解答 担当 タラパパ

▲ 3八銀、▽ 3四歩、▲ 3九金、▽ 4四角、▲ 4九玉、▽ 1七角不成、▲ 1八飛、▽ 3九角不成、▲ 1三飛成、▽ 4八金 まで10手

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金	王	銀	桂	香		
二		飛								
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	龍	
四							歩			
五										
六										
七	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		
八		角				銀	銀			
九	香	桂	銀	金		王	桂	香		

持駒 歩

端に飛車が成るには最低で8手かかります。成ると共に歩以外の駒を取るなら「76歩、XX？、66角、92飛、93角成、同飛、XX？、97飛成」のような順か、「76歩、32飛、33角成、同飛、38？、37飛不成、26歩、17飛成」で角歩しか取れませ

ん。  
あと一手で後手が詰ませるのはすでに不可能です。となると成ったのは先手。  
後手に働きがあって、先手が最短で成れる端といえば1筋しかありません。いつもながら、よく検討がなされて安心して出題できます(^^)

ミニベロ 「57銀迄をうまく消しています。」

■その手順は見えませんでした。作者の検討が行き届いているから良いようなものの・・・危なかった。

はてるま 「条件が魅力的ですし、手順もダイナミック。名人戦にふさわしい名局でした。」

■なんたって名人ですから、滅多に悪手は指しません。・・・ん？

たくぼん 「これで2条件とは巧いものです。これも18飛を急ぎすぎるとダメでした。」

■手順前後の消し方が巧妙。余詰消しも兼ねていますし。

渡辺 「またもや無駄手の中核になる作品、今度はミスディレクションですが反応は何如に。」

■非難の声？はなかったようです(笑)

DD++ 「飛が成るのは8手目だろうと予想し、「76歩、？、66角、92飛、93角成、同飛、？、97飛成、？、？」という順ばかり考えていましたがなかなか詰まず、9手で成る順に考えを切り替えてさらに丸1日、ようやく詰みました。あきらかに上級より難しいと思います。ところで、解は最短飛成ではないわけですが、タラパパさんのこのコメントは一体・・・？」

■コメントが却って罠に！ 失敗でした。端に飛車が成るだけで8手かかり、詰める側が成るのは詰み形が作れないというつもりでしたが。

はなさかしろう 「97飛成や93飛成を先に検討してしまう筋の悪さに我ながらあきれつつ、ようやく44-17-39の後手角と18-13の先手

飛車の組み合わせを発見。あとは先手玉周辺3手の組み立てですが、17角の成生限定のためには39の角は生、従って38銀-39金-49玉が決定...と裏技に手が出てしまいました。これを1条件でぴたりと決めてあるところがスタイリッシュです。」

■スタイリッシュ、上手い言葉ですねえ。

**斧間徳子** 「普通、9手目は序盤としたものですねえ。手順前後と余詰めを同時に防ぐ「5手目は4手目と同じ筋の着手」という条件付けがうまく、引き締まった好作になっている。流石です。」

■では最終手を指した局面は序盤でしょうか、終盤でしょうか？それが問題だ（笑）

**リーグ戦ファン** 「私の場合、常に、キーになる条件（端に飛成）だけから脳内で考え始めますので、こういう（端に飛成のような）、実現手段が極端に限定されてくる条件は大好きです。▽17角のパターンを思いついてから細部条件を確認、あたふた修正を考えて...という幸せな時間でした。」

■同じ解き方です。なかなか上手いきませんが。

**竹野龍騎** 「角の動きが見えて、条件を満たす収束形を探して解決。手触りの良い手順。」

■詰ませるだけなら8手で可能な形ですけどね。

**S.Kimura** 「後手の飛車を成るとばかり思っていたので、正解にたどり着いたときは唖然としました。」

■それこそ、渡辺さんの狙いでした。ミスディレクション。

**○術師** 「最初は9筋から後手飛車が侵入する手ばかり考えていましたが、ダメそうなので1筋から先手飛車が侵入する手に方針転換。解けはしましたが飛車の動き自体に意味が薄いのがスッキリしません。」

■無駄手を活用する作品ですから。

正解：11名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん たくぼんさん  
竹野龍騎さん DD++さん はてるまさん  
はなさかしろうさん ○術師さん  
ミニベロさん リーグ戦ファンさん  
渡辺さん

---

### 31-3 上級 はなさかしろうさん作 交通規制 11手

「道路工事で渋滞か。退屈しのぎにさっきの棋譜を検討しようか」

「11手で詰んでいるね」

「角は”成”と”打”が付いている手の一つずつあるだけだな」

「金は4手目に”左”が付いている手があるだけだよ」

「”不成”が付いている手もあるね」

「こんなに交通規制が厳しいと行けるところが限られてしまうな」

(条件)

- ・ 11手で詰め
- ・ 角の手は成と打の一手ずつのみ
- ・ 金の手は4手目の左の手のみ
- ・ 不成あり

※ 成、打、左、不成はいずれも棋譜に明記する必要のある手です。

棋譜で「○○角」や「○○角不成」はNGですが、角でない「○○馬」はOK

---

### 出題のことば (担当 タラパパ)

交通規制が激しく、指せる手は意外に狭い。角をどう使う？

---

推理将棋 31-3 解答 担当 タラパパ

▲7六歩、▽4二飛、▲3三角成、▽5二金左、▲4二馬、▽同玉、▲5一飛、▽3二銀、▲2一飛不成、▽3三角打、▲3四桂 まで11手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金				飛	皇	一
				玉	王	馬	馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	馬	歩	歩	三
						桂			四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

かなり論理的に解けます。

「角の手は成と打の一手ずつ」ですから、角で角を取ることはできません（打の前に〇〇角が現れる）。

「打～成」の順だと、角以外の駒で”動かない敵角”を取ってから、打って成るしかありませんから不可能です。

「成～打」の順だと、成れる場所は 33 か 77。成った側が「打」を指すことは（生角が消えるので）不可能です。すると「成～打」の順で、しかも先手が成ったなら後手が打つ。後手が成ったなら先手が打つことになります。成ったのは先手で、打ったのは後手。その後二枚角は動かないことになります。

先手の着手は、76 歩～ 33 角成～馬で駒取り～駒打ち～不成（駒取り）～駒打ち迄が決まります。

「76 歩、42 飛（銀）、33 角成、52 金左、42 馬、同玉、XX？（飛か銀打ち）、XX？、XX？不成、XX？、XX？（駒打ち）迄」

2 手目が銀だと、これを打って取る有力な駒がありません（角や金を取っても使えない）。先手が飛車を取り、飛車で銀か桂馬を不成で取り、打って詰ませなければなりません。そんな時に便利な駒は、銀よりも桂馬ですね。

とまあ、以上が担当が解いた手順。論理に破綻はないつもりですが・・・？

ミニベロ 「最初は下記かと思ったんですが、棋譜上の「打」が抜けてました。これは、後手

にしか出来ないんですね。解けて納得の好手順です。

▲ 7 六歩 △ 4 二玉 ▲ 7 七桂 △ 5 一金左  
▲ 6 五桂 △ 3 四歩 ▲ 2 二角成 △ 3 二銀  
▲ 5 三桂不成 △ 5 二飛 ▲ 3 一角」

■ここに書かれた手順、すぐにでも使えそうな（^^）

はてるま 「抽象的な条件でまごつきましたが、考え出すと確かにけっこう絞られています。収束がユニークで面白いですね。」

■はい、この詰上がりは初だと思います。

たくぼん 「6 手目まではすんなりでしたが、32 銀が好手で影の桂に気づきにくいですね」

■6 手目まで、ほぼ論理的に決まりますから、意外に楽ができます。銀の好アシスト。

渡辺 「これもミスティレーション。31-2は丁度良いヒントになってくれたと期待。移動でもよい角をわざわざ「打」にするのが手順限定のミソ。「成る手はなかった」だと限定されず、「不成があった」だとうまく限定されるのが珍しい。

適当に動かしてみても...「76 歩、34 歩、22 角成、52 金左、13 馬、42 玉、23 馬、17 香生、同香、13 桂、33 角」あれ？

「打」も棋譜に必要なのか、ということで再考。

角打→角成とすると、角打の時点で一方に角が2枚あるので次に角が成れるのは2手以上後。よって角打は9手目まで、角取りが7手目までだが、これを実現するには、

「26 歩、24 歩、25 歩、同歩、同飛、？、22 飛（不）成」しかなく、4手目の条件に違反。

よって角成→角打だが、この場合成った角を取って打たないと「角打」にならない。

よって角成は8手目まで。まさか後手が角を打たないよな？と思い確認すると、詰んでしまいました。しかも角打が限定打！」

■渡辺さんの評を読んでいて、この条件付けの上手さを改めて感じました。

DD++ 「4 手目の金左が、龍単騎詰めと後手



の 77 角成とをいっぺんに消すいい縛り方。角を捨てるのが先手となれば、76 歩、33 角成、駒取り、駒打ち、不成で駒取り、駒打ち、で詰ますしかない。後手 2 枚目の角の弱点を突くなら最後は桂、後手駒だけでは逃げ道が塞ぎきれないので先手が飛車で桂をとりつつ一段目をまとめて封鎖。見た目よりもかなり読みやすい問題でした。面白い！」

■まったく同じ読み！ ということは論理は破綻していない？

**作者** 「角への規制は本問の骨子で解図の道すじにも使っていたきたいのですが、金を緩めると簡単に余詰んでしまうため泣く泣くのみ規制を課しました。6 手目同玉の形で玉の左上に不穏な気配を感じていただけると秒殺かと。交通規制をかいくぐって飛車がちょこっと走る感じですよ。」

■金を緩めると、43 金までなんてのがありませんね。飛車を車に見立てている訳ですね？

**斧間徳子** 「51 飛以下の収束が面白い手順。」

■文句なしに面白いと思います。

**リーグ戦ファン** 「「打」が限定できる場所を考えると先手 22 か後手 31・33 以外に想像できず、▽ 33 角打▲ 34 桂には比較的容易にたどりつきました。キー条件（角）だけだとたくさんある詰めパターンを「金左」だけで逃げているのはさすがです。」

■最近皆さん、羨ましいほど条件に長けてきました。

**S.Kimura** 「角を打つのは先手しかないと思いついていたので先手の角が成って、馬で駒を取る発想はなかなか浮かびませんでした。この詰め上がりは全く意外というしかありません。」

■ふふふ、そう来なくっちゃ。

**○術師** 「最初は後手角が成り、先手がつなぎ角を打つ手順を考えましたが、後手角が成れるのが最短で 6 手目では手があまりにも足りず。

先手角が成る方向で考え始めて、角打の手は 31 か 33 だろう・・・と考えていたら解けました。51 飛が限定されるのが良い感じですよ。」

■先手がつなぎ角を打っても、動けないんですよ。

正解：10 名

S.Kimura さん 斧間徳子さん たくぼんさん  
DD++ さん はてるまさん  
はなさかしろうさん ○術師さん  
ミニベロさん リーグ戦ファンさん 渡辺さん

## 総評

**はなさかしろう** 「採用していただきまして本当にありがとうございます。とても嬉しい反面、余詰なくなんとか無事に終わってほしい気持ちで一杯です。」

■バッチリ好評でございました（笑）

**○術師** 「今回はヒントを見ないで解くことができましたが、初級にエラく悩みました。思い込みにハマるとそこから抜け出すのは難しいですね。」

■たかが 9 手でも、思い込みにハマると解けないのが推理将棋ですから。

推理将棋第 31 回出題全解答者：12 名

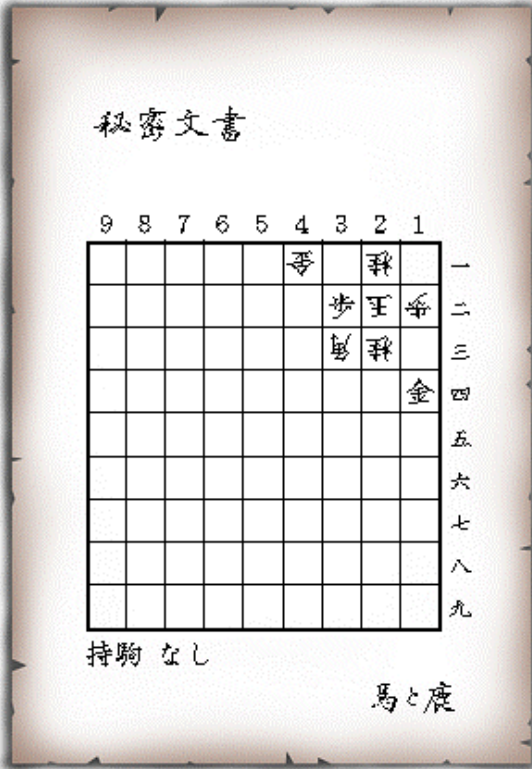
S.Kimura さん 斧間徳子さん 高坂研さん  
たくぼんさん 竹野龍騎さん DD++ さん  
はてるまさん はなさかしろうさん  
○術師さん ミニベロさん  
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

当選：ミニベロさん

おめでとうございます。

# 秘密文書解決編

秘密文書に暗示されている機密とは・・・一体？



卓「スペースが余って無理やり穴埋め記事を書いたので・・・」

凡「何いい訳してるの？」

卓「解答者0（泣）」

凡「唯一ブログに渡边さんが『これ、気付いていたのですが何かさっぱり分かりませんでした。今やっと分かりましたが5手詰めですね。』と書いてくださったのみ・・・」

卓「渡边さんありがとう～～～」

凡「で作意は？」

==その後出てきたメモ==

秘密文書の右下の「馬と鹿」の文字が、この図がばか詰であることを示している。

では早速解いてみよう・・・・・・・・

「23 金、 11 玉、 22 金、同角、 23 桂」迄の5手だ。

それにしても簡単すぎないか？ 32 歩と 41 金は不要駒だし・・・

そうか！ばか詰を表すだけなら「馬鹿」でいいはず。

それが「馬と鹿」・・・2頭の動物の表記で書かれている・・・2頭・・・2頭・・・2答・・・そうか解は1つでなく2つか！

4手目同玉と取ってみよう。

「23 金、 11 玉、 22 金、同玉、 34 桂、 32 玉、 42 桂成、 22 玉、 32 圭、 23 玉、 33 圭、 14 玉、 32 角、 13 玉、 23 角成」までの15手。

15手以下ではこの2つしかない。

この詰将棋は2解のばか詰で手数は、5手と15手。そうか！決行は五月十五日だ！

==以上==

そう！文書に隠されていた秘密とは、犬養首相を暗殺する決行日、「五、一五事件」の事だったのだ。

おわり



(このコラムは勿論フィクションです)

# Fairy TopIX 2009 お気に入り投票結果

2009年のFairy TopIX投票結果発表です。

投票者は、市村道生、渡辺、橋本孝治、山田嘉則、小峰耕希、酒井博久、雲海、橘圭伍、清水大昌、シン、たくぼん 計11名でした。(敬称略) たくさんの投票ありがとうございました。

推理将棋・PG部門を除いた短・中・長編の部の授賞者が、七郎さんと雲海さんの2名だけという事実は、その他の作家にとって寂しい結果ではあったが、それだけお二人の充実度が素晴らしかったと言えるでしょう。今年度は皆さん頑張りましょう！

## 【短編部門】

投票者：市村道生、渡辺、橋本孝治、山田嘉則、小峰耕希、酒井博久、雲海、橘圭伍、清水大昌、シン、たくぼん 計11名

短編部門の投票者は11名でした。昨年は3名と悲惨な状況だったことを考えれば文句無しの投票数と言えるでしょう。ありがとうございました。

短編部門の1位に輝いたのは、ギネスに挑戦(フェアリー編)歩合単玉部門で最小駒数作の橋本孝治さんのばか詰(9手)です。昨年の1位も荻江さんの紛れ最多のばか詰(5手)でしたので2年連続で創作コンテストの作品ということになりました。作家目線の投票が多かったということでしょうか。多くの方がチャレンジした中、誰も辿り着けなかった6枚という偉業に票が集まりました。

2位は今期大活躍した雲海さんの超難解作・Isardam(A)打歩協力詰9手。あの七郎さんが撃沈したのですからその難解さが分かるというもの。マドラシっぽい焦点に打つ歩打ちで3重王手はインパクト大でした。

3位はこちらも雲海さんの背面キルケ協力自玉詰4手。何と言ってもインパクトのある初手にコメントが集まりました。「お便りより」で示された元ネタ図は超難解な1作。こちらで出題されれば結果はどうなったかも興味深い。

## 【得票順】

記載は、順位、一覧の番号、作者名、出題場所、ルール、手数、お気に入り投票ポイントです。同位の場合は作者名の五十音順に記載しています。

1位 短 88 橋本孝治 ギネスに挑戦(歩合) ばか詰 9手 17pt

2位 短 13 雲海 第10回WFP作品展6番 Isardam打歩協力詰(A) 9手 12pt

3位 短 105 雲海  
第1回フェアリー短編コンクール5番  
背面キルケ協力自玉詰 4手 9pt

4位 短 3 雲海 第6回WFP作品展3番  
アンチキルケ協力自玉詰 10手 8pt

5位 短 28 雲海 第13回WFP作品展3番 Isardam協力自玉詰(A) 8手 7pt

5位 短 31 雲海 第14回WFP作品展2番 協力自玉詰 14手 7pt

5位 短 12 小峰耕希 第10回WFP作品展5番 Isardam協力自玉詰(A) 8手 7pt

8位 短 33 雲海 第15回WFP作品展2番 協力自玉詰 10手 6pt

9位 短 34 たくぼん 第15回WFP作品展3番 協力詰 11手 5pt

10位 短 21 紅月花煉 第12回WFP作品展4番 キルケ協力自玉詰 6手 4pt

10位 短 8 シン 第9回WFP作品展2番 PWC協力自玉詰 8手 4pt

12位 短 104 シン  
第1回フェアリー短編コンクール4番  
PWC協力詰 7手 3pt

12位 短 54 たくぼん 第6回詰四会フェアリー作品展 2番 協力詰 7手 3pt

12位 短 93 中村雅哉 ギネスに挑戦(大駒4枚消し) ばか詰 9手 3pt

15位 短 90 伊達悠 ギネスに挑戦(大駒4枚消し) ばか詰 9手 2pt

15位 短 78 中村雅哉 ギネスに挑戦(歩合双玉) ばか詰 3手 2pt

17位 短 47 雲海 FOF#20-1 協力詰 7手 1pt

17位 短 37 神無太郎 第16回WFP作品展 5番 対面協力白玉詰 12手 1pt

17位 短 99 シン カピタン展示室 23番 アンチキルケ協力詰 7手 1pt

17位 短 15 たくぼん 第11回WFP作品展 2番 安南協力白玉詰 6手 1pt

17位 短 44 たくぼん FOF#19-1 協力詰 5手 1pt

17位 短 57 橋圭伍 第6回詰四会フェアリー作品展 5番 ばか自殺ステイルメイト 12手 1pt

17位 短 58 橋圭伍 第6回詰四会フェアリー作品展 6番 キルケばか詰 11手 1pt

17位 短 59 橋圭伍 第6回詰四会フェアリー作品展 7番 キルケばか詰 7手 1pt



🌀 1位 短 88 橋本孝治 2009/7

ギネスに挑戦(フェアリー編) 歩合単玉部門 ばか詰 9手 17pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
						銀	龍		六
							糸	皇	七
									八
							進	王	九

持駒 なし

17 龍 18 歩 同龍 同玉 19 歩 28 玉 37 銀  
17 玉 18 香 迄 9手

**受賞コメント 橋本孝治**

この作の受賞はまったく予想していませんでした。選ばれた理由は「分かり易さ」でしょうか?もしそうなら、今回の受賞は課題を設定されたたくぼんさんとの共同受賞と言って良いかもしれません。なぜなら、課題そのものが「なぜその課題が設定されたか」という理由が分かり易く、作図意欲の湧くものだったからです。ただ、改めて図を見直してみると「26 龍・46 銀」は「16 龍・26 銀」の方が良かったように思えます。投稿前になぜもう一度推敲しなかったのかと、悔いが残ります。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
							銀	龍	六
							糸	皇	七
									八
							進	王	九

持駒 なし

**渡辺 1位**

鋭い発想と巧い図のまとめ方が良いです。

**シン 1位**

この作品には驚愕した。こんな綺麗な形で歩合がだせるとは。手順をみてもただの記録作ではない。

**雲海 2位**

図と手順を見て驚いた記憶があります。ここまでできるなんて！

**たくぼん 2位**

この駒数で出来るとは・・・創り手側から見たお気に入りはこの1作

**橘圭伍 次点**

構図が見事

**2位 短13 雲海作 2009/5**

**第10回 WFP 作品展 6番**

Isardam 打歩協力詰 (A) 9手 12pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
			馬						三
			科	糸					四
		糸				龍			五
		龍				王			六
					ス		雀		七
									八
									九

持駒 桂香歩

39 香 38 金 同香 45 玉 46 金 26 龍 37 桂  
34 香 36 歩 迄 9手

**受賞コメント 雲海**

まさかの高評価に驚いています。というのも、マドラシでよくある打歩の手筋を Isardam で行っただけかと思っていたからです。Isardam 自作例が少なく、目新しく感じられたのでしょうか？ともあれ投票して頂いた方に感謝を申し上げます。ところで今作の当初の予定でした4重王手ですが、3手はできましたが5手以上になると余詰がとても厳しくなります。そのため私は挫折したのですが、どなたか挑戦してくだされませんかええ。。

**たくぼん 1位**

とにかく難解かつ見事な詰上り。これまで余り経験したことの無い様な解図感でした。

**小峰耕希 2位**

結局解けなかったけど、昨年一番解図に時間を費やした作品の1つだったと思う。龍と馬に挟み付けられてて選択肢が狭いはずなのに、最後まで手がかりが掴めなかった。

**橋本孝治 2位**

龍と角の筋だけでなく香の筋までピンする手順が盲点で、無解になった思い出の作。紛れもかなり多く、極めて難解。

**市村道生 次点**

最後の5手が圧巻ですね。次々に、Isardam の防衛で築いた三重の堅陣を、焦点の打歩で粉砕する。痛快な傑作です。

**3位 短105 雲海作 2009/12**

第1回フェアリー短編コンクール5番  
ばか自殺スタイルメイト 14手 9pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			角						一
飛									二
									三
	王								四
			飛						五
									六
									七
									八
									九

持駒 角

89 香 64 角 83 玉 82 角成 迄 4手

**受賞コメント 雲海**

詰上りを抽出して作ろうと思い、まず受先は絶対でしたし、2手詰では少し物足りなく感じたので2手だけ逆算して本作となりました。一発芸の域は出ていないと思いますが、比較的目新しい筋ではあり、主張がわかりやすい所を評価していただいたのでしょうか？複合ルールはまだまだ新しい手筋が埋まっていると思いますが、解答者の負担も大きいので、深く掘り下げるのには抵抗があります。人間がついていけなくなりそうですから・・・。

**小峰耕希 1位**

初手が単純な割に印象に残った。

**橘圭伍 3位**

言う事はない.....

**たくぼん 次点**

この初手が印象深い。

**市村道生 次点**

初手が命の作品。受先の条件が効果的で、さらに、9段目の香打が異質なので、この手の発見に手間取る。勿論、終形の想定が大前提です。

**4位 短3 雲海作 2009/1**

第6回 WFP 作品展第3番

アンチキルケ協力白玉詰 10手 8pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						王			三
									四
									五
						王			六
									七
									八
									九

持駒 飛角

16 角 54 玉 59 飛 57 飛 27 角 65 玉 69 飛  
68 角 38 角 47 飛成 迄 10手

**橋本孝治 1位**

双裸玉から飛角図式に。しかも詰上りは浮駒（に見える駒）による王手を含む両王手。

もず氏の未発表作と同一図ですが、それで作品価値が落ちるわけではありません。

**acceleration 3位**

忽然と現れるバッテリー。舞台作り手順が地味なのは残念。

**市村道生 次点**

極く普通の手順で進み、アンチキルケがその効力を発揮するのは最終手。それだけに、蓄積されたエネルギーが、一気に大爆発する感がある。

**5位 短28 雲海 2009/8**

第13回 WFP 作品展3番

Isardam 協力白玉詰 (A) 8手 7pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				王					二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
王									九

持駒 飛角

29 飛 88 玉 28 飛 81 飛 82 角 19 角 73 王  
28 角生 迄 8手

**acceleration 1位**

このルールの可能性を引き出した作品。ただし、頭2手の逆算はどうだろう。自分ならない方を選びそうだ。

**橋本孝治 3位**

将来的には「手筋作」に分類されるかもしれませんが、開き王手以外で攻方王が移動する Isardam 独自の展開は意外性充分。

**5位 短31 雲海 2009/10**

第14回 WFP 作品展2番

協力白玉詰 14手 7pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					飛		角		一
									二
				王					三
			飛						四
						桂			五
								歩	六
									七
					角	王	歩		八
									九

持駒 なし

26 角 42 玉 34 桂 33 玉 44 角 34 玉 66 角  
25 玉 65 飛 同角 26 歩 同玉 48 角 同飛  
成 迄 14 手

**橘圭伍 1位**

何気ない初形から角の大回転が見事な作品。  
完成度も、狙いも今季最高と思う

**たくぼん 3位**

見事な角の1回転。創意がひしひしと感ぜられる。

**5位 短 12 小峰耕希 2009/5**

第 10 回 WFP 作品展 5 番

Isardam 協力白玉詰 (A) 8 手 7 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							香	王	一
									二
							飛	歩	三
									四
				王					五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

53 飛生 54 角 同飛生 15 飛 53 飛生 54 角  
33 角 13 飛 迄 8 手

**雲海 1位**

簡素な図から53飛生&54角合のリフレインとこのルール独特の詰上がりが出てくるのが印象に残りました。

**シン 3位**

Isardam の手筋をふんだんに盛り込んだ手順は好感が持てる。初形の簡素さも良い。



**8位 短 33 雲海 2009/9**

第 15 回 WFP 作品展 2 番

協力白玉詰 10 手

6 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						金	王		二
									三
				龍					四
									五
							金	香	六
									七
							馬	王	八
				龍		香			九

持駒 なし

65 馬 39 龍 94 龍 43 香 同馬 同馬 92 龍  
82 角 38 香 同龍 迄 10 手

**橘圭伍 2位**

94 龍の一手が素晴らしい！！

**シン 2位**

龍ソッポ、桂生も入り、詰上がりは両王手。  
充実した手順で、自殺詰のよさが凝縮された作。

**9位 短 34 たくぼん 2009/10**

第 15 回 WFP 作品展 3 番

協力詰 11 手

5 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							香	香	五
							香	香	六
								王	七
									八
									九

持駒 銀

18 銀 28 玉 17 銀 27 玉 16 銀 18 玉 27 銀  
17 玉 18 銀 16 玉 28 桂 迄 11 手

**清水大昌 1位**

これは頑張って解いた覚えがあります。この

ようなパズルは大好きです。

**10 位 短 21 紅月花煉 2009/7**  
**第 12 回 WFP 作品展 4 番**  
 キルケ協力白玉詰 6 手 4 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1
王								龍
				糸				
王								

持駒 角香

19 角 81 玉 89 香 19 龍 /88 角 97 角 89 龍 /99 香 迄 6 手

**小峰耕希 3 位**

狙いが明快なので 3 位に入れておきます。

**市村道生 次点**

華麗な大駒の動きが盤面を飾ります。しかし、派手な割には上品な落ち着きもあり、詰後感は抜群です。

**橋本孝治 次点**

入門者向けの好作。易しいですが、このルールはこう作るものだという見本になる作品。

**10 位 短 8 シン 2009/4**  
**第 9 回 WFP 作品展 2 番**  
 PWC 協力白玉詰 8 手 4 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 飛

59 飛 58 角 同飛 /59 角 57 角 同飛 /58 角 55 飛 同飛 /57 飛 同飛成 /57 飛 迄 8 手詰

**acceleration 2 位**

PWC らしい一直線上の攻防。

**橋本孝治 次点**

自然美というか、生まれたときから完成品の作。どう手を加えても作品価値が落ちそう。

**12 位 短 104 シン 2009/12**  
**第 1 回 フェアリー短編コンクール 4 番**  
 PWC 協力詰 7 手 3 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 飛桂

66 飛 36 桂 28 桂 同桂成 /36 桂 44 桂 17 玉 16 飛 迄 7 手

**雲海 3 位**

36 桂に気付いた時はなるほどと思い、かつ驚かされました。

**市村道生 次点**

36 桂が絶妙手。通常の詰後感では経験出来ない快感を覚える。33 桂の後日談が付録で付きます。





12位 短 54 たくぼん 2009/5  
 第6回詰四会フェアリー作品展2番  
 協力詰 7手 3 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							桂	香	一
						龍	王		二
						歩	歩	銀	三
						角			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金銀桂

14 桂 31 玉 22 桂成 42 玉 53 銀 43 玉 44  
 金 迄 7手

清水大昌 2位

初見ですが、実戦系も大好きなもので。

12位 短 93 中村雅哉 2009/8  
 ギネスに挑戦 (大駒4枚消し)  
 ばか詰 9手 3 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

89 飛 同玉 88 飛 79 玉 68 銀 88 玉 77 銀  
 87 玉 88 金 迄 9手

渡辺 2位

最小限の表現、エッセンスをうまく捉えています。

15位 短 90 伊達悠 2009/8  
 ギネスに挑戦 (大駒4枚消し)  
 ばか詰 9手 2 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

16 角 同玉 17 飛 同玉 18 馬 同玉 19 飛  
 同玉 29 金 迄 9手

清水大昌 3位

手順が鋭く、大駒全て自ら捨て、最小手数と三拍子そろいました。

15位 短 78 中村雅哉 2009/7  
 ギネスに挑戦 (歩合双玉)  
 ばか詰 3手 2 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

29 龍 28 歩 18 龍 迄 3手

渡辺 3位

最小限の表現、エッセンスをうまく捉えています。

17 位 短 47 雲海 2009/7

Fairy of the Forest#20-1

協力詰 7手

1 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
			角						三
									四
									五
				王					六
									七
							角		八
									九

持駒 桂

75 角 66 飛 同角 56 玉 68 桂 65 玉 64 飛 迄 7手

酒井博久 次点

簡素な初形が良い。ただ、ベストとは思えないので、1点。

17 位 短 37 神無太郎 2009/11

第 16 回 WFP 作品展 5 番

対面協力白玉詰 12 手

1 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
							王		八
									九

持駒 桂2

78 桂 77 飛 98 桂打 85 玉 77 桂 76 飛 25 飛 35 桂 86 桂 77 玉 27 飛 同桂生 迄 12 手

市村道生 次点

左辺と右辺で夫々準備を進め、最後に主力が合体します。桂馬と飛車の息の合った絶妙な連携プレイが、解答者の感動を招きます。

17 位 短 99 シン 2009/4

カピタン展示室 23 番

アンチキルケ協力詰 7手

1 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
龍	馬								一
									二
									三
							香	王	四
							歩		五
							龍		六
									七
									八
								歩	九

持駒 香

18 香 17 龍 同香 同角成 /22 馬 11 龍 12 馬 13 飛 迄 7手

市村道生 次点

持駒を補充して邪魔ゴマを整理して11龍を実現。次の瞬間、不思議なアンチキルケの魔術が最後を飾ります。

17 位 短 15 たくぼん 2009/6

第 11 回 WFP 作品展 2 番

安南協力白玉詰 6手

1 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								王	二
									三
						馬	飛	王	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

24 飛 23 香 同飛生 12 玉 15 香 23 玉  
迄 6 手

**市村道生 次点**

2 手詰で出題されても、難解な作品。詰め上げの瞬間には、思わず息も詰まる思いがしました。安南自殺詰の永久保存版です。

17 位 短 44 たくぼん 2009/4

Fairy of the Forest #19-1

協力詰 5 手

1 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
					飛				二
						王		金	三
									四
					角	銀		銀	五
									六
									七
									八
									九

持駒 香

44 銀 32 玉 34 香 23 玉 33 香成 迄 5 手

**雲海 次点**

課題を逆手に取った手順ですが、課題抜きにしても楽しめる手順ではないかと思えます。

17 位 短 57 橘圭伍 2009/5

第 6 回詰四会フェアリー作品展 5 番

ばか自殺スタイルメイト 12 手

1 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王									一
		飛							二
		皇							三
王									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金銀桂

92 銀 82 玉 91 銀生 73 玉 84 金 63 玉 75  
桂 同飛 73 金 同玉 82 銀生 同玉迄 12 手  
**橋本孝治 次点**

フェアリーでは珍しい積み崩し。大上段に構えて新機軸を世に問う作品ばかりでなく、こういう小品も残って欲しいもの。

17 位 短 58 橘圭伍 2009/5

第 6 回詰四会フェアリー作品展 6 番

キルケばか詰 11 手

1 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
						銀	金	歩	王	一
						金	銀	歩	銀	二
						金	銀		銀	三
						金	銀	金		四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 金銀桂

23 桂 22 玉 /27 歩 11 銀 23 玉 /29 桂 22 金  
同馬 /49 金 同銀成 33 玉 23 全 同馬 /39 銀  
22 角 迄 11 手

**市村道生 次点**

最初の数手は、目的不明のまゝ王様を誘導。中盤で、色々と思案中に、段々と作意が見えて来る。そして最終手、強烈な電撃が全身を貫いた。

17 位 短 59 橘圭伍 2009/5

第 6 回詰四会フェアリー作品展 7 番

キルケばか詰 7 手

1 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金銀桂

88 桂 同馬 87 銀 同玉 /79 銀 88 銀 /22 馬  
78 玉 68 金 迄 7手

### 市村道生 次点

龍馬 4 枚の堅陣の無仕掛け図に闘志が湧きます。小駒で敵玉に肉迫し、キルケの援護もあって陥落。信じられない結末でした。

### 【短編部門・総評】

#### 橋本孝治

印象に残った順に並べたら、上位が全部雲海氏の作ばかりになってしまいました。昨年度の氏の充実振りが如実に現れています。

#### 雲海

今回投票した中では、短編が一番迷いました。それぞれ長所がありますから。難しかったです。

#### たくぼん

雲海氏の充実が特に感じられる 1 年でした。

## 【 中 編 部 門 】

投票者：市村道生、橋本孝治、山田嘉則、小峰耕希、酒井博久、雲海、橋圭伍、神無太郎、たくぼん 計 9 名

中編部門もトップ 3 を雲海さんと七郎さんで占めました。

1 位は文句なしの雲海氏の協力自玉詰 24 手。1 位票 4 名 2 位票 2 名集めてぶっちぎりでした。何も無いところから突如現れる飛の最遠打を握り詰という制約の中で実現した手腕が評価されたと言っていいでしょう。

2 位は七郎さんの最悪詰 45 手。まさかの飛合は解いた人でないと分からないかもしれませんが驚きの一手でした。

3 位にはまたまた雲海さんで、七種合の協力自玉詰 24 手。24 手に 7 種合を入れるという驚くべき手順。是非一度駒を並べて見て欲しいと思います。

惜しくもベスト 3 は逃したものの太郎さんの「サザンクロス」「イージス」は素晴らしい作品群。票が割れなければ間違い無く上位に入っていたことでしょう。

### 【得票順】

- |      |      |      |                             |              |      |        |
|------|------|------|-----------------------------|--------------|------|--------|
| 1 位  | 中 20 | 雲海   | JIGSAWBOX#4-2 番改            | 協力自玉詰        | 24 手 | 2 6 pt |
| 2 位  | 中 22 | 神無七郎 | JIGSAWBOX#4-4 番             | 最悪詰          | 45 手 | 1 6 pt |
| 3 位  | 中 9  | 雲海   | 第 17 回 WFP 作品展 1 番          | 協力自玉詰        | 24 手 | 9 pt   |
| 4 位  | 中 10 | 神無太郎 | 第 17 回 WFP 作品展 2 番 「サザンクロス」 | PWC 協力自玉 STM | 18 手 | 7 pt   |
| 4 位  | 中 11 | 神無太郎 | 第 17 回 WFP 作品展 3 番 「イージス」   | PWC 協力自玉 STM | 18 手 | 7 pt   |
| 6 位  | 中 12 | 神無七郎 | OFM151 回出題                  | 対面協力自玉詰      | 18 手 | 2 pt   |
| 6 位  | 中 14 | 神無七郎 | FOF#18-4 番                  | 協力詰          | 25 手 | 2 pt   |
| 6 位  | 中 6  | 紅月花煉 | 第 12 回 WFP 作品展 1 番          | 協力自玉詰        | 16 手 | 2 pt   |
| 6 位  | 中 2  | たくぼん | 第 7 回 WFP 作品展 2 番           | 最悪詰          | 35 手 | 2 pt   |
| 10 位 | 中 8  | 神無太郎 | 第 16 回 WFP 作品展 6 番          | 対面協力自玉詰      | 16 手 | 1 pt   |
| 10 位 | 中 3  | 神無七郎 | 第 8 回 WFP 作品展 3 番           | 強欲協力詰        | 19 手 | 1 pt   |
| 10 位 | 中 5  | 神無七郎 | 第 10 回 WFP 作品展 2 番改         | 強欲協力詰        | 38 手 | 1 pt   |
| 10 位 | 中 13 | 小林看空 | FOF #18-3 番                 | 協力詰          | 17 手 | 1 pt   |
| 10 位 | 中 15 | シン   | FOF #19-4 番                 | 協力詰          | 31 手 | 1 pt   |
| 10 位 | 中 23 | たくぼん | 第 6 回詰四会 F 作品展 1 番          | 打歩ばか詰        | 17 手 | 1 pt   |

**1位 中 20 雲海 2009/7**

**JIGSAWBOX#4-2番改**

協力自玉詰 24手 26pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						角	と		四
					歩		歩	歩	五
						金			六
					香		桂	王	七
					角	王			八
						金			九

持駒 なし

28 金 16 玉 17 金 同玉 39 角 28 飛 同角  
 16 玉 26 金 同玉 96 飛 86 桂 同飛 76 飛  
 17 角 同玉 29 桂 26 玉 76 飛 66 角 同飛  
 56 桂 46 飛 36 桂 48 角 同桂右成 迄 26  
 手

**受賞コメント 雲海**

何もない所からの遠打。これが自分にとっての遠打の理想です。  
 本作は5筋から左には何も配置していないけれど、合駒で得た飛を9筋からの遠打という構成となっており、理想に近づいた作となっているためは気に入ってはいます。  
 できれば7間離しが良かったのですが、更に欲張ったらfmに怒られました(笑)  
 入賞はするかなと予想はしていましたが、1位は望外の結果です。ありがとうございます。。

**橋本孝治 1位**

さりげない形からの最遠打に驚かされました。握り詰でこれは驚異。

**acceleration 1位**

懐かしい感じのするばか自殺詰。位置でなく遠さが必要、という最遠打はまだ希少価値あり。

**小峰耕希 1位**

見た目でも密室物と思ひ込みやすいだけに、96飛に凍り付いた。

**神無太郎 1位**

昨年の発表作で唯一どうにかしたいと思った作。メインテーマのみを純粹表現するのが好みで、握り詰にこだわるのはもったいないなあと。絞って他で出せばよかったのに。

(次メール)

いろいろ試したら、こんな感じにはできました。

ばか自殺詰 20手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							歩	歩	五
									六
						角	桂	王	七
						王			八
									九

持駒 角

**たくぼん 2位**

ぽつんと 96 飛。これが握り詰とは驚く。

**橘圭伍 2位**

何もない空間である 96 から飛車を打てたらいいなあ、という想いを実現してくれる素晴らしい作品

**2位 中 22 神無七郎 2009/7**

**JIGSAWBOX#4-4番**

最悪詰 45手 16pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
			歩			歩	金		五
							歩	歩	六
				角					七
				金	角		桂		八
					王		香		九

持駒 なし

69 金 48 玉 59 金 37 玉 48 金 27 玉 37 金  
 同玉 46 桂 38 飛 同香 46 玉 47 飛 55 玉  
 57 飛 66 玉 56 飛 77 玉 76 飛 68 玉 78  
 飛 59 玉 79 飛 48 玉 49 飛 57 玉 47 飛 66  
 玉 46 飛 56 歩 同飛 77 玉 76 飛 68 玉  
 78 飛 59 玉 79 飛 48 玉 49 飛 57 玉 47  
 飛 68 玉 69 歩 59 玉 49 飛 迄 45 手

**受賞コメント 橋本孝治**

この作は自分でも気に入っている作で、ちょうど中編の手数ということもあって、四百人一局集ではこの作を題材に文章を書きました。最悪詰は普通の詰将棋と同様変化・紛れのあるルールですが、攻方と受方の目標が逆転しているため、独特の雰囲気や特徴を持っています。両者の共通性や差異を研究すると“詰将棋”の持つ性質がより深く理解できると思うので、このルールに取り組む人がもっと増えて欲しいと思います。。

**たくぼん 1位**

昨年発表の作品の中でこの一手を上げろと言われたら間違いなく本作10手目の38飛！こんなにビックリしたことは最近なかった。

**雲海 1位**

構成美ではこれが1番だと思います。なんでこんなことが可能なのだろう、と不思議にも思いました。

**acceleration 2位**

意外性十分の飛合からの手順。

**橘圭伍 3位**

序奏～ 38 飛！！という妙手が出るという展開。

**市村道生 次点**

10手目の飛合あたりが最大の山場。このルールでは、大駒の合駒には不利感が伴うので、迂闊には指せない鬼手です。



**3位 中9 雲海 2009/12**

**第17回 WFP 作品展1番**

協力自玉詰 24 手

9 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						金	金	金	四
				飛	桂	香	香	香	五
				桂	王			香	六
				歩			飛		七
							王		八
						桂	歩		九

持駒なし

(修正図：発表図は57金、39→59桂)

26 飛 36 角 同飛 同玉 69 角 58 金 同角  
 47 飛 46 金 26 玉 36 金 16 玉 49 角 38  
 香 同角 27 桂 19 香 18 銀 同香 17 歩  
 26 金 同玉 37 銀 同飛成 迄 24 手

**受賞コメント 雲海**

「なりなり」シリーズに影響を受けて、密室物の協力自玉詰を作ってみようといじっていた所、作意の38香合からの手順が気に入ったので（当初は29歩がなく17の合駒は桂でした）、そこから7種合にならないかと試した結果、幸運にもうまくできた作です。

7種合を思いついたのも三郎氏の作群を鑑賞して、いつかは7種合を作ってみたいと思ったからです。三郎氏と大九郎氏の影響を受けて出来た作といっても過言ではないと思います。

7種合にしてはコンパクトにできているのが個人的に気に入っています。ところで本作についてですが、解答稿の時に紅月氏が仰っていましたが、57金→57歩、59桂→39桂とすれば、全て打合になるので、この場を借りて、修正したいと思います。

**橘圭伍 1位**

七種合。少し移動合があるのが残念ですが、それでも.....それでも構成が見事です

**橋本孝治 2位**

初形から七種合の匂いを感じることができな

いので、解いてから本当に驚いた作。  
 作者自身による改良案の方を推薦します。  
**たくぼん 次点**  
 解いたときに七種合と気付かず失礼しました。  
 お詫びを兼ねて…。

**4位 中 10 神無太郎 2009/12**  
**第 17 回 WFP 作品展 2 番 「サザンクロス」**  
**PWC 協力自玉 STM 18 手 7 pt**

後手：持駒なし

											一
											二
											三
											四
											五
											六
											七
											八
											九

持駒 飛

64 飛 74 角 95 歩 93 玉 63 飛生 73 角 94 歩  
 92 玉 93 歩生 91 玉 61 飛生 71 角 92 歩生  
 同玉 62 飛生 72 角 同飛生 /62 角 82 角  
 打 迄 18 手

**たくぼん 3位**

イージスと迷いましたが詰上り&命名を買いました。

**雲海 3位**

手順も良いですが、命名も良く、印象に残る作。

**市村道生 3位**

飛車の始末に苦労しましたが、美しい終形を見て感動しました。駒制限無しの作品には、仄かなロマンを感じます。

**橋本孝治 次点**

これは理屈ぬきで、最終形の美しさが印象に残ります。



**4位 中 11 神無太郎 2009/12**  
**第 17 回 WFP 作品展 3 番 「イージス」**  
**PWC 協力自玉 STM 18 手 7 pt**

後手：持駒なし

											一
											二
											三
											四
											五
											六
											七
											八
											九

持駒 角

19 角 28 香 同角 55 飛 同角 /28 飛 71 玉  
 77 香 76 飛 同香 /77 飛 75 飛 同香 /76 飛  
 74 飛 同香 /75 飛 73 飛 同香生 /74 飛 72  
 飛 同香生 /73 飛 同玉 迄 18 手

**雲海 2位**

これと「サザンクロス」ではどちらを上位にしようか迷いましたが、苦勞したこちらにします。

**市村道生 3位**

前題の影響で紆余曲折。香を取得する手順が浮かび一歩前進。2枚の歩の意味が分かって解決。豪華絢爛の終形が圧巻です。

**橋本孝治 3位**

「サザンクロス」と同時発表ですが、こちらは香を入手する序が入ると、余分に見える飛を発生させる意味付けが面白い。



6位 中 12 神無七郎 2009/9

OFM151回出題

対面協力白玉詰 18手 2pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	王								一
	科								二
									三
									四
									五
									六
									七
								王 桂	八
				桂					九

持駒 桂

93 桂 92 角 82 桂成 同玉 94 桂 93 角 72 桂成 71 角 81 圭 83 玉 82 圭 81 角打 73 圭 72 角打 84 圭 82 玉 73 圭 同角 迄 18手

市村道生 3位

持駒の角5枚が最終局面のヒントになりました。手順は効率よく、美しい終形は未知との遭遇を彷彿させます。

6位 中 14 神無七郎 2009/1

FOF#18-4番

協力詰 25手 2pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				角					五
									六
									七
						龍	と	と	八
								銀	九
						金	飛	王	九

持駒 角金銀

28 銀 同龍 29 金 同龍 46 角 37 金 同角 28 龍 29 金 同金 28 角 同金 39 飛 29 角 同飛 同金 46 角 37 飛 同角 28 金 同角

同角生 39 飛 同角生 29 金 迄 25手

橘圭伍 次点

狭い中での入れ替えパズルぽい手順が面白い 酒井博久 次点

合駒を交えた繰り返しが好み。ただ、これもベストとは思えないので、1点。

6位 中 6 紅月花煉 2009/7

第12回 WFP 作品展1番

協力白玉詰 16手 2pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		科	科	龍	鶴				一
皇			王	科					二
	歩	歩	科	歩					三
		皇	皇						四
科	王			皇					五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂4

54 桂 73 玉 65 桂 83 玉 75 桂 82 玉 94 桂 72 玉 62 桂成 同飛 83 桂成 同玉 82 桂成 同飛 73 桂成 同玉 迄 16手

橋本孝治 次点

桂を順に打って順に捨てるだけというユーモア作品。飛を運ぶ手順を絡め、巧く単調さを避けました。

雲海 次点

狙いが簡明で非常に楽しめる作品だと思います。





6位 中2 たくぼん 2009/2

第7回 WFP 作品展 2番 「万有引力」

最悪詰 35手 2pt

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								馬	二
									三
			遊						四
角	銀	香							五
	金	金				王			六
	飛	歩							七
						香		金	八
				王					九

持駒 なし

27金 47玉 37金 同玉 55馬 46香 同馬  
同玉 47香 57玉 56金 同玉 66金 57玉  
56金 同玉 76飛 66桂 同飛 同金 68桂  
57玉 66銀 同飛 56金 同飛 84角 75金  
同角 66金 同角 同飛 56金 同飛 58金  
迄 35手

橋本孝治 次点

このルールで曲詰を作ろうとした意欲に一  
票。もっと形が分かり易ければ、評価も上が  
ったでしょうに。

市村道生 次点

中盤から収束部にかけての手順の叩き込みが  
強烈です。なにか看寿の作品に通ずる感があ  
ります。

10位 中8 神無太郎 2009/11

第16回 WFP 作品展 6番

対面協力自玉詰 16手 1pt

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
			王						五
									六
							王		七
									八
桂									九

持駒 歩3

87桂 86飛 76歩 同玉 88桂 87飛打 77  
歩 同玉 89桂 88飛打 69桂 68飛成 78  
桂 89玉 88歩 同玉 迄 16手

市村道生 次点

飛車3枚の壁を作ったものの、詰めが解ら  
ず、途方に暮れました。14手詰でも立派な作  
品なのに、作者が用意した最後の1着88歩  
は、好防を兼ねた画竜点睛の絶妙手で、感動  
しました。

10位 中3 神無七郎 2009/3

第8回 WFP 作品展 3番

強欲協力詰 19手 1pt

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

持駒 銀2桂3歩2

28銀 同玉 17銀 同玉 29桂 16玉 28桂  
15玉 16歩 24玉 36桂 23玉 24歩 22  
玉 14桂 13玉 23歩成 14玉 24と 迄 19  
手

雲海 次点

現時点の裸玉の最長手順ということで1票  
投じます。





83 桂 同銀 82 金 同玉 91 銀 71 玉 82 銀  
生 72 玉 73 銀生 63 玉 64 銀生 74 玉 75 銀  
85 玉 86 銀 94 玉 95 歩 迄 17 手

#### 橋本孝治 次点

穴熊の初形から意外な脱出手順。5手目91銀を発見してそれで終わり…ではなかった！

#### 【中編部門・総評】

#### 橋本孝治

例年閑古鳥が鳴く中編部門ですが、今年は割と豊作でした。この部門でも雲海氏強し！

### 【長編部門】

投票者：市村道生、渡辺、橋本孝治、山田嘉則、酒井博久、雲海、橋圭伍、たくぼん 計8名

長編部門もトップ3は七郎さんと雲海さんで占めました。とにかく短編～長編まで何でもござれのオールラウンドプレイヤーですね。

1位に輝いたのは、Fairy of the Forest#20に発表された単玉無防備協力詰の最長手数作品、神無七郎作 協力詰 219手です。発表図は75歩の無い215手でしたが解説時に4手更新されました。記録作と言うことだけでなく手順も超一流です、是非盤に並べて見て下さい。

2位も七郎さんの超長編。Isardam(B)の特性を活かした入替えパズルのような趣向作ですがなかなか難解な作品。

3位は雲海さんの密室ものの1作。今期は数作発表されましたが、どれも手ごわい作品ばかり、その中で55で始まり55で終わる還元玉に仕上げた協力詰75手が票を一番多く集めました。しかし若干他の密室作品に票を奪われた感もありやや不運だったかもしれませんね。

今期、長編部門は一覧を見ていただければ解りますが、発表した作者数が少ないのが気になる。たくさんの方に易しい作品でいいので発表をしていただきたいと思います。またそのようなコーナーの設立も必要かなと思っています。ご意見がありましたら是非お聞かせください。

#### 【得票順】

- |     |              |         |                |        |
|-----|--------------|---------|----------------|--------|
| 1位  | 長 25         | 神無七郎    | FOF#20-10番改    |        |
|     | 協力詰          | 219手    |                | 2 0 pt |
| 2位  | 長 21         | 神無七郎    | OFM153回出題      |        |
|     | Isardam(B)   | 協力詰     | 323手           | 1 2 pt |
| 3位  | 長 26         | 雲海      | FOF#21-04番     |        |
|     | 協力詰          | 75手     |                | 7 pt   |
| 4位  | 長 6          | たくぼん    | 第9回 WFP 作品展5番  |        |
|     | 強欲協力詰        | 83手     |                | 6 pt   |
| 5位  | 長 10         | 雲海      | 第16回 WFP 作品展2番 |        |
|     | 協力詰          | 107手    |                | 5 pt   |
| 6位  | 長 15         | 神無七郎    | OFM143回出題      |        |
|     | 強欲協力詰        | 85手     |                | 4 pt   |
| 6位  | 長 19         | 神無七郎    | OFM152回出題      |        |
|     | 協力詰          | 95手     |                | 4 pt   |
| 6位  | 長 11         | たくぼん    | 第16回 WFP 作品展4番 |        |
|     | 強欲協力詰        | 85手     |                | 4 pt   |
| 9位  | 長 30         | Urakabe | 萬葉邸支店          |        |
|     | 協力詰          | 25729手  |                | 3 pt   |
| 9位  | 長 24         | 雲海      | FOF#20-09番     |        |
|     | 協力詰          | 53手     |                | 3 pt   |
| 9位  | 長 20         | 神無七郎    | OFM154回出題      |        |
|     | 強欲協力詰        | 59手     |                | 3 pt   |
| 9位  | 長 27         | たくぼん    | フェアリー版迷宮の果てに   |        |
|     | 協力詰・普通詰将棋    | 53手     |                | 3 pt   |
| 13位 | 長 13         | 神無太郎    | 第17回 WFP 作品展4番 |        |
|     | PWC 詰        | 104手    |                | 2 pt   |
| 13位 | 長 2          | 神無七郎    | 第7回 WFP 作品展3番  |        |
|     | 強欲協力詰        | 57手     |                | 2 pt   |
| 13位 | 長 3          | 洞江元太    | 第7回 WFP 作品展5番  |        |
|     | Messigny 協力詰 | 131手    |                | 2 pt   |
| 16位 | 長 8          | 神無七郎    | 第13回 WFP 作品展5番 |        |
|     | 取禁協力詰        | 411手    |                | 1 pt   |

16位 長 18 神無七郎 OFM149回出題  
禁欲協力詰 75手 1pt

16位 長 9 たくぼん 第14回 WFP 作品  
展3番 強欲協力詰 77手 1pt

16位 長 12 たくぼん 第17回 WFP 作  
品展6番 強欲協力詰 89手 1pt

16位 長 28 たくぼん 第7回詰四会フェ  
アリー作品展5番 強欲協力詰 83手 1pt

(注) 同位の場合は作者名の五十音順です。



1位 長 25 神無七郎 2009/7  
FOF#20-10番改  
協力詰 219手 20pt

9 8 7 6 5 4 3 2 1

飛	飛	角	銀	と	と	と	と	銀	
歩	香	金	と	と	と	と	銀		
桂		歩	香	金	歩	歩		桂	
	歩		桂	金	金	桂			
			歩	歩	銀				
				香		香		歩	
		王							

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九

持駒 角

97角 88歩 同角 68玉 79角 77玉 88角  
86玉 97角 77玉 88角 68玉 79角 59玉  
68角 48玉 59角 39玉 48角 28玉 39角  
27玉 28歩 26玉 48角 37歩 27歩 25玉  
26歩 16玉 17歩 同玉 39角 28歩 同角  
26玉 37角 17玉 26角 28玉 37角 39玉  
48角 28玉 29歩 17玉 39角 28歩 18歩  
27玉 28歩 26玉 48角 37歩 27歩 25玉  
26歩 16玉 17歩 同玉 39角 28歩 同角  
26玉 37角 17玉 26角 28玉 37角 39玉  
28角 48玉 39角 59玉 48角 68玉 59角  
79玉 68角 88玉 79角 77玉 88角 67玉  
68歩 同玉 79角 59玉 68角 48玉 59角  
39玉 48角 28玉 29歩 17玉 39角 28歩  
18歩 27玉 28歩 26玉 48角 37歩 27歩  
25玉 26歩 16玉 17歩 同玉 39角 28歩

同角 26玉 37角 17玉 26角 28玉 37角  
39玉 48角 28玉 29歩 17玉 39角 28歩  
18歩 27玉 28歩 26玉 48角 37歩 27歩  
25玉 26歩 16玉 17歩 同玉 39角 28歩  
同角 26玉 37角 17玉 26角 28玉 37角  
39玉 28角 48玉 39角 59玉 48角 68玉  
69歩 77玉 59角 68歩 同角 88玉 79角  
87玉 88歩 86玉 87歩 95玉 68角 77桂  
同角 96玉 88桂 97玉 86角 88玉 77角  
79玉 68角 88玉 79角 87玉 88歩 86玉  
68角 77桂 同角 97玉 86角 88玉 77角  
79玉 68角 88玉 79角 87玉 88歩 86玉  
68角 77歩 87歩 97玉 79角 87玉 88歩  
86玉 78桂 同歩生 68角 77桂 同角 97  
玉 86角 88玉 97角 77玉 86角 76玉 88  
桂 67玉 68歩 迄 219手

**受賞コメント 神無七郎**

「単玉無防備図式の最長手数は？」という問は元々、神無三郎氏によるもの。厳しい環境に置かれた生物が劇的な進化を遂げるように、双玉による余詰防ぎを禁止した協力詰から新しい工夫が生まれることは大いに考えられます。尤も、本作では小さな工夫はあっても残念ながら大きな発展はなく、記録自体もまだまだ伸ばす余地がありそうですが、その小さな工夫の積み重ねが認められ、投票を頂いたことは素直に喜びたいと思います。

**acceleration 1位**

単なる記録作を超えた精妙で美しい手順。

**たくぼん 1位**

単玉無防備でこの手数にも驚きだが、内容も文句無し。

**雲海 1位**

単玉無防備でここまで出来るというのが驚きです。密室物を手がけたことが無い方は、是非手がけてみて下さい。この作の凄さがさらに分かりますから。

**酒井博久 1位**

単玉ばか詰の記録作として外せません。





2位 長 21 神無七郎 2009/11

OFM153回出題

Isardam(B) 協力詰 323手 1 2 pt

9 8 7 6 5 4 3 2 1

	銀	銀	遊	馬	王		金	金	一
香	香	香	香				香	香	二
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス			三
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス		王	四
									五
	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	六
									七
									八
									九

持駒 歩76

15 歩 13 玉 14 歩 23 玉 13 歩成 24 玉 25 歩 同と上 14 と 同玉 15 歩 13 玉 14 歩 23 玉 24 歩 同と上 13 歩成 33 玉 34 歩 同と左 23 と 同玉 24 歩 13 玉 23 歩成 14 玉 15 歩 同と寄 13 と 24 玉 25 歩 同と上 23 と 34 玉 35 歩 同と寄 24 と 同玉 25 歩 13 玉 14 歩 23 玉 24 歩 33 玉 34 歩 同と上 23 歩成 同玉 13 歩成 24 玉 25 歩 同と上 23 と 34 玉 33 と 同玉 34 歩 23 玉 24 歩 同と 33 歩成 13 玉 14 歩 同と寄 23 と 同玉 24 歩 33 玉 23 歩成 34 玉 33 と 24 玉 25 歩 同と右 23 と 34 玉 35 歩 同と上 33 と 44 玉 45 歩 同と寄 34 と 同玉 35 歩 23 玉 24 歩 33 玉 34 歩 43 玉 44 歩 同と上 33 歩成 同玉 23 歩成 34 玉 35 歩 同と上 33 と 44 玉 43 と 同玉 44 歩 33 玉 34 歩 同と 43 歩成 23 玉 24 歩 同と右 33 と 同玉 34 歩 43 玉 33 歩成 44 玉 43 と 34 玉 35 歩 同と右 33 と 44 玉 45 歩 同と上 43 と 54 玉 55 歩 同と寄 44 と 同玉 45 歩 33 玉 34 歩 43 玉 44 歩 53 玉 54 歩 同と上 43 歩成 同玉 33 歩成 44 玉 45 歩 同と上 43 と 54 玉 53 と 同玉 54 歩 43 玉 44 歩 同と 53 歩成 33 玉 34 歩 同と右 43 と 同玉 44 歩 53 玉 43 歩成 54 玉 53 と 44 玉 45 歩 同と右 43 と 54 玉 55 歩 同と上 53 と 64 玉 65 歩 同と寄 54 と 同玉 55 歩 43 玉 44 歩 53 玉 54 歩 63 玉 64 歩 同と上 53 歩成 同玉 43 歩成 54 玉 55 歩 同と上 53 と 64 玉 63 と 同玉 64 歩 53 玉 54 歩 同と 63 歩成 43 玉

44 歩 同と右 53 と 同玉 54 歩 63 玉 53 歩成 64 玉 63 と 54 玉 55 歩 同と右 53 と 64 玉 65 歩 同と上 63 と 74 玉 75 歩 同と寄 64 と 同玉 65 歩 53 玉 54 歩 63 玉 64 歩 73 玉 74 歩 同と上 63 歩成 同玉 53 歩成 64 玉 65 歩 同と上 63 と 74 玉 73 と 同玉 74 歩 63 玉 64 歩 同と 73 歩成 53 玉 54 歩 同と右 63 と 同玉 64 歩 73 玉 63 歩成 74 玉 73 と 64 玉 65 歩 同と右 63 と 74 玉 75 歩 同と上 73 と 84 玉 85 歩 同と寄 74 と 同玉 75 歩 63 玉 64 歩 73 玉 74 歩 83 玉 84 歩 同と上 73 歩成 同玉 63 歩成 74 玉 75 歩 同と上 73 と 84 玉 83 と 同玉 84 歩 73 玉 74 歩 同と 83 歩成 63 玉 64 歩 同と右 73 と 同玉 74 歩 83 玉 73 歩成 84 玉 83 と 74 玉 75 歩 同と右 73 と 84 玉 85 歩 同と上 83 と 94 玉 95 歩 同と 93 と 84 玉 83 と 74 玉 73 と 84 玉 85 歩 93 玉 83 と 94 玉 84 と 迄 323手

### 受賞コメント 神無七郎

IsardamのタイプAとタイプB。独自の拡張着手を持つ前者と純粋に着手制限のみの後者。どちらかと言えば地味なタイプBで作られた作が評価され、受賞の榮譽に浴するというのは、少し意外でもあり嬉しくもあります。この頃は他にも非標準駒数作品を発表していたので、解答者がこの種の問題設定に慣れ、非標準駒数作品に抵抗を持たなくなっていたのも入賞の要因かもしれない。

### 渡辺 1位

初めて長編を解く気にさせてくれた作品。あじゃ盤で1サイクルと収束をそれぞれ検討しました。

### たくぼん 2位

簡単な趣向作と思えばさにあらず。結構考えさせられました。Isardam Bタイプも結構面白い作品が創れそうと感じました。

### 橘圭伍 2位

ルールを利用してちょっとずつずらしていくのが面白い

### 市村道生 次点

綺麗に並んだと金群を、2筋右に積み替える。難解で巧妙な手順、収束部の落とし穴。文句なしの秀作。



3位 長 26 雲海 2009/10

FOF#21-04番

協力詰 75 手

7 pt

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
				飛	飛	歩	金			三
			歩	歩	歩	歩	金	金		四
		角	桂	王			桂	金		五
		銀	香				歩	歩		六
		銀	香					歩		七
		銀	香							八
		銀	香	角	手					九

持駒 桂

37 角 45 玉 57 桂 35 玉 46 角 26 玉 35 角  
 37 玉 26 角 28 玉 17 角 37 玉 26 角 28 玉  
 29 歩 39 玉 17 角 48 玉 26 角 57 玉 35 角  
 46 桂 同角 48 玉 57 角 37 玉 48 角 27 玉  
 19 桂 17 玉 39 角 26 玉 48 角 35 玉 57 角  
 46 歩 27 桂 26 玉 48 角 17 玉 39 角 27 玉  
 28 歩 26 玉 48 角 37 桂 同角 35 玉 47 桂  
 同歩生 46 角 26 玉 27 歩 17 玉 35 角 28 玉  
 46 角 39 玉 57 角 48 圭 同角 28 玉 39 角  
 37 玉 28 角 36 玉 48 桂 35 玉 17 角 26 桂  
 同角 45 玉 57 桂 55 玉 37 角 迄 75 手

**受賞コメント 雲海**

正直受賞が1番意外な作でした。55で玉が還元する密室物のコンセプトで作りはじめた所、思いの外楽に出来た作のため、あまり印象は残っていないです(笑)

自分の作る密室物はパズル性が薄くてあまり気に入らず、そのため最近では密室物は作っていませんが、これを機に少し作ってみようかと思えます。ありがとうございました。

**酒井博久 2位**

密室物で大活躍の作者。都還元玉の本作を上位と見ます。

**たくぼん 3位**

氏の密室物では最上位かと・・・

**橋圭伍 3位**

今回の長編密室物では突出している気がする作品。気がするだけかもしれないけど...

4位 長 6 たくぼん 2009/4

第9回 WFP 作品展 5番

強欲協力詰 83 手

6 pt

9 8 7 6 5 4 3 2 1

	馬	歩		銀			と	歩	歩	一
	銀								歩	二
	科			香	歩	王				三
歩	歩			科	入				入	四
科		銀		龍	香	歩	入	王		五
					香		歩	角		六
	桂	入		歩		歩	香			七
			金		と	と	飛	銀		八
	金			金						九

持駒 なし

44 龍 22 玉 21 と 12 玉 14 龍 21 玉 11 龍  
 同玉 12 歩 同玉 13 歩 同玉 14 歩 同玉  
 25 角 同金 15 歩 同玉 16 歩 同玉 17 銀  
 同玉 18 飛 同玉 28 と 同玉 38 と 同玉  
 49 金 27 玉 38 金 26 玉 37 金 35 玉 36 歩  
 同金 同金 同玉 27 金 46 玉 37 金 45 玉  
 54 馬 同玉 66 桂 53 玉 62 銀生 同玉 71  
 銀生 同玉 72 歩 同玉 83 歩成 同玉 95 桂  
 94 玉 86 桂 95 玉 84 銀 86 玉 77 金 同玉  
 78 金 66 玉 75 銀 57 玉 47 金 同玉 59 桂  
 56 玉 67 金 55 玉 47 桂 65 玉 66 銀 54 玉  
 65 銀 43 玉 55 桂 44 玉 45 歩 55 玉 56 金  
 迄 83 手

**橋圭伍 1位**

強欲詰で中央小駒煙。大きな緩みもない手順も良い

**橋本孝治 次点**

煙にならない不安と、手順が途切れる不安。この両方の不安感との戦いを強いられる、非常に難解な強欲煙。



5位 長 10 雲海 2009/11  
第 16 回 WFP 作品展 2 番  
協力詰 107 手

5 pt

								金	金	
					金	金	歩	桂		
		銀	銀	銀	銀	桂				
		角	飛	歩	歩	桂		歩		
		香	歩							
		香			王					
		香				歩				
飛	香			王	歩					

持駒 角歩2

14 角 25 歩 同角 36 桂 同角 56 玉 47 角  
67 玉 58 角 56 玉 67 角 47 玉 56 角 36 玉  
47 角 27 玉 19 桂 16 玉 38 角 15 玉 27 桂  
16 玉 15 桂 27 歩 17 歩 15 玉 16 歩 25 玉  
47 角 36 桂 同角 16 玉 28 桂 同歩成 25  
角 27 玉 16 角 37 玉 38 歩 47 玉 25 角 36  
歩 同角 56 玉 47 角 67 玉 58 角 56 玉 67  
角 47 玉 56 角 36 玉 37 歩 25 玉 47 角 16  
玉 38 角 27 桂 17 歩 15 玉 16 歩 14 玉 47  
角 36 歩 同角 25 歩 15 歩 同玉 16 歩 同  
玉 27 角 15 玉 16 歩 14 玉 26 桂 同歩 36  
角 25 桂 15 歩 同玉 16 歩 同玉 25 角 27  
玉 16 角 37 玉 29 桂 47 玉 25 角 36 歩 同  
角 56 玉 47 角 67 玉 58 角 56 玉 67 角 47  
玉 56 角 36 玉 37 歩 25 玉 47 角 16 玉 17  
歩 27 玉 36 角 迄 107 手

橋本孝治 1 位

雲海氏の密室シリーズには毎回苦しめられ  
ましたが、この作が最も謎解きと趣向手順の  
バランスが良いと思います。



6位 長 15 神無七郎 2009/1  
OFM143 回出題  
強欲協力詰 85 手

4 pt

								銀	王	
銀										

持駒 銀歩18

23 銀打 13 玉 14 歩 24 玉 25 歩 同玉 34  
銀生 14 玉 23 銀引生 24 玉 25 歩 35 玉 36  
歩 同玉 45 銀 25 玉 34 銀引生 35 玉 36 歩  
46 玉 47 歩 同玉 56 銀 36 玉 45 銀引 46  
玉 47 歩 57 玉 58 歩 同玉 67 銀 47 玉 56  
銀引 57 玉 58 歩 68 玉 69 歩 同玉 78 銀  
58 玉 67 銀引 57 玉 66 銀 同玉 67 歩 76  
玉 77 歩 86 玉 87 歩 75 玉 76 歩 同玉 77  
銀 87 玉 88 銀上 96 玉 97 歩 85 玉 86 歩  
75 玉 66 銀 86 玉 77 銀引 75 玉 76 歩 65  
玉 66 歩 64 玉 65 歩 同玉 66 銀 76 玉 77  
銀上 85 玉 86 歩 74 玉 75 歩 64 玉 65 銀  
75 玉 76 銀引 84 玉 85 銀 95 玉 96 歩 迄  
85 手

acceleration 2 位

趣向が終わった後の手順がおもしろい。この  
部分だけを徹底して展開したような作品も見  
てみたい。

市村道生 次点

細かな手順で、99 銀の応援を求めます。歩の  
使用がこの局の生命で、絶妙な捌きの名局で  
す。



6位 長 19 神無七郎 2009/10

OFM152回出題

協力詰 95手

4 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				我					三
				我					四
			龍	玉	玉				五
			龍	王	龍				六
		桂		玉	桂	桂			七
				桂					八
		王	桂	桂					九

持駒 金26銀21桂

67 銀 同金 57 銀 同銀生 66 金 同龍 65 銀 同馬 55 金 同馬左 45 銀 同飛 46 金 同銀生 57 銀 同龍 66 金 同金 67 銀 同龍 57 銀 同銀生 46 金 同馬 55 金 同馬寄 65 銀 同金 66 金 同馬 55 金 同馬左 46 金 同銀生 57 銀 同龍 67 銀 同馬 66 金 同馬上 55 金 同金 65 銀 同馬 66 金 同龍 57 銀 同銀生 46 金 同金 55 金 同飛 45 銀 同金 46 金 同銀生 57 銀 同龍 66 金 同馬上 65 銀 同飛 55 金 同馬 66 金 同馬引 67 銀 同龍 57 銀 同銀生 46 金 同馬 55 金 同馬右 66 金 同飛 65 銀 同馬 55 金 同馬引 46 金 同銀生 57 銀 同龍 67 銀 同飛生 66 金 同馬左 55 金 同銀 46 金 同龍 57 銀 同飛生 68 桂 迄 95 手

### 雲海 3位

金少桂氏作の「15 パズル」の応用版。協力詰でも駒の入替パズルができるということを示した作。この作の本質がわかった時、フェアリーをやっていて良かったなあと思いました。

### たくぼん 次点

パズルを解くような感じが好きです。

### 市村道生 次点

駒の入れ替え問題ですが、飛車・金との性能の相違を上手く活かした構想が見事です。手順も変化に富み、娯楽性満点のパズルです。

6位 長 11 たくぼん 2009/11

第 16 回 WFP 作品展 4 番

強欲協力詰 85 手

4 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛								銀	一
飛						ス	銀		二
		ス	歩			銀	ス		三
					銀	ス	ス	ス	四
		ス	王		金	ス			五
		歩	桂	我	我		ス		六
	歩	ス		ス	ス	玉	ス		七
			ス						八
						玉		香	九

持駒 桂香

55 金 66 玉 56 金 76 玉 66 金 同玉 55 銀 同玉 44 銀生 同玉 36 桂 同馬 33 銀生 同玉 25 桂 同と左 22 銀生 同玉 13 香成 同玉 19 香 14 香 同香 同玉 19 香 15 香 同香 同玉 19 香 16 香 同香 同玉 19 香 17 馬 同香 同と寄 49 角 27 馬 同角 同玉 54 角 36 角 同角 同玉 54 角 45 角 同角 同玉 89 角 56 角 同角 同玉 89 角 67 角 同角 同玉 89 角 78 角 同角 同玉 45 角 87 玉 54 角 65 と 同角 76 角 同角 同と 88 歩 同玉 55 角 66 と 同角 98 玉 99 歩 97 玉 75 角 86 香 同角 同玉 89 香 88 金 同香 97 玉 87 金 迄 85 手

### 橋本孝治 3位

私の好みは煙よりもこちらですね。細かい伏線、切れそうで切れない手順、意外な角打角合の出現と楽しめる要素が満載。これでもう少し収束に粘れば、もっと上位で推すのですが。

### 雲海 次点

趣向がわかった時ニヤリとしてしまった作品。発展性もありそうですし、期待をこめて投票します。

### 市村道生 次点

銀、香、角の連続捨駒で玉を力強く目的地に誘導します。気持ちよい手順ですが、未知の奥道を探訪するスリルも味わえます。





9位 長 30 Urakabe 2009/7

萬葉邸支店

協力詰 25729手

3 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	王		飛		銀				一
	全			科	科	香	桂	桂	二
				科		香	と	桂	三
	香	香	香			香			四
		銀	銀	銀	香	香	香		五
	香	王	歩		歩	歩	歩		六
				香					七
		歩		歩					八
歩	歩								九

持駒 なし

\* 手順は Fairy Top IX 2009 長編一覧をご覧ください

雲海 次点

並べて機構にビックリ！ただ非限定が気になります・・・

市村道生 次点

久しぶりの超長編。俄然食欲が湧き、挑戦しましたが、6手短縮に苦慮しました。高品位の傑作ですが、非限定が惜しまれます。

acceleration 次点

これは正式発表と見ていいのか分からないし、理解してもいないので扱いに迷う。かと言って無視することはできない。順位なし、ということで投票。

9位 長 24 雲海 2009/7

FOF#20-09番

協力詰 53手

3 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				桂	銀	銀	銀	銀	三
			金	桂	歩	桂	歩	歩	四
			金	桂					五
			金	香					六
			金	香			王		七
			飛	香					八
			飛	香					九

持駒 角

49 角 38 角 同角 18 玉 45 角 36 歩 同角  
 27 歩 29 角 同玉 47 角 38 角 同角 同玉  
 39 歩 37 玉 19 角 28 角 同角 同歩成 38  
 歩 同と 19 角 28 角 同角 48 玉 39 角 37  
 玉 48 角 同と 15 角 26 角 同角 46 玉 19  
 角 28 歩 同角 37 歩 35 角 同玉 17 角 26  
 角 同角 46 玉 35 角 47 玉 25 角 38 玉 16  
 角 27 歩 39 歩 47 玉 25 角 迄 53 手

橋本孝治 2位

難解さでは昨年度最強。(自分が解けなかつたせいでそう思うのかもかもしれませんが。) 盤上に、壁駒2枚+1枚の計3枚も玉方の駒が増えるとは...

9位 長 20 神無七郎 2009/12

OFM154回出題

強欲協力詰 59手

3 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							角	銀	一
								香	二
						王		と	三
								と	四
						角	香		五
						飛	香	飛	六
						桂	桂	王	七
						香		銀	八
						銀		銀	九

持駒 金4桂2香2歩2

29 桂 同銀生 18 歩 同玉 17 金 同飛成  
 28 金 同龍 17 金 同玉 18 歩 同銀生 29  
 桂 同龍 16 金 同玉 15 と 同玉 14 と 同  
 玉 17 香 16 金 同香 15 金 同香 同玉 14  
 金 同香 14 金 同香 同玉 13 金 同玉 23  
 金 14 玉 13 金打 同香 同金 同玉 17 香  
 16 金 同香 15 金 同香 14 金 同香 同玉  
 13 金 同玉 12 金 同玉 23 金 迄 59 手

渡辺 2位

強欲協力詰はとっつきやすいと感じました。







圭 同玉 92 歩 81 玉 91 歩成 71 玉 81 と  
61 玉 71 と 51 玉 61 と 41 玉 51 と 31 玉  
41 と 21 玉 31 と 11 玉 21 と 12 玉 11  
と 同玉

「12 歩 21 玉 11 歩成 31 玉 21 と 41 玉  
31 と 51 玉 41 と 61 玉 51 と 71 玉 61 と  
81 玉 71 と 91 玉 81 と 92 玉 91 と 同  
玉 92 歩 81 玉 91 歩成 71 玉 81 と 61 玉  
71 と 51 玉 61 と 41 玉 51 と 31 玉 41 と  
21 玉 31 と 11 玉 21 と 12 玉 11 と 同  
玉」× 8

22 銀生 12 玉 21 銀生 11 玉 12 香 22 玉  
32 銀成 12 玉 22 全 同飛 24 桂 21 玉 12  
桂成 32 玉 22 圭 41 玉 31 飛 迄 411 手

**市村道生 次点**

軽快な手順で進みますが、最後の収束で一  
波瀾が起きます。禁欲ルールは忍耐のゲー  
ム。解禁時の歓喜が堪えられません。

**16 位 長 18 神無七郎 2009/7**

**OFM149 回出題**

**禁欲協力詰 75 手**

**1 pt**

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						銀			二
					香	香	香		三
					玉			玉	四
					飛				五
					玉		香		六
							玉		七
									八
									九

持駒 桂4歩18

15 歩 24 玉 25 歩 15 玉 24 歩 14 玉 15 歩  
24 玉 25 歩 15 玉 24 歩 14 玉 15 歩 24 玉  
25 歩 15 玉 24 歩 14 玉 15 歩 24 玉 25 歩  
15 玉 24 歩 14 玉 15 歩 24 玉 25 歩 15 玉  
24 歩 14 玉 15 歩 24 玉 25 歩 15 玉 24 歩  
14 玉 15 歩 24 玉 34 飛 15 玉 35 飛 14 玉  
34 飛 24 銀 15 歩 同玉 35 飛 14 玉 15 歩  
同銀 34 飛 24 歩 26 桂 同銀 15 歩 同銀  
26 桂 同銀 15 歩 同銀 26 桂 同銀 15 歩  
同玉 35 飛 25 歩 27 桂 24 玉 34 飛 同玉  
43 銀生 24 玉 34 銀成 14 玉 24 金 迄 75  
手

**たくぼん 次点**

禁欲の奥深さを感じさせてくれた作品。

**16 位 長 9 たくぼん 2009/9**

**第 14 回 WFP 作品展 3 番**

**強欲協力詰 77 手**

**1 pt**

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
料	と							と	一
玉				香	香	香	香	香	二
			歩	歩	歩	歩	歩		三
		料	玉	銀					四
				銀					五
	料	香		金				香	六
と	飛	角	角	香	銀		玉		七
金	金		香	銀	飛				八
歩	と		香		香	桂			九

持駒 なし

91 と 同玉 83 桂 81 玉 71 桂成 同玉 62  
歩成 同玉 52 歩成 同玉 42 歩成 同玉  
32 歩成 同玉 22 歩成 同玉 64 銀 77 金  
12 と 同玉 55 金 67 金 13 歩 同玉 14  
歩 同玉 15 歩 同玉 27 桂 同杏 16 歩 同  
玉 86 飛 同桂 28 桂 同杏 17 歩 同玉 18  
歩 同玉 28 飛 同玉 29 香 同玉 38 銀  
同玉 47 銀 49 玉 58 銀 同玉 59 歩 57 玉  
58 歩 同金 56 金 同玉 65 銀 同玉 68 香  
同金 66 歩 同玉 75 銀 同玉 86 と 同玉  
78 桂 同金 97 金右 77 玉 78 と 同玉  
89 金 同玉 88 金 99 玉 98 金引 迄 77 手

**雲海 次点**

この年の強欲煙の中でこれが1番好みでし  
た。2つの意味を持たせた 55 金の伏線手が  
とても印象に残っています。



16位 長 12 たくぼん 2009/12

第 17 回 WFP 作品展 6 番

強欲協力詰 89 手

1 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
糸	糸	糸	糸	と	糸	又		王	一
歩					と		歩		二
			香				糸		三
		香				桂			四
馬			銀			金	又	桂	五
	香	歩		歩	糸	又			六
手				銀	又	歩	銀	銀	七
又	と	歩			皇		龍		八
		飛				桂		角	九

持駒 なし

23 桂生 12 玉 11 桂成 同玉 21 歩成 同玉  
31 と 同玉 41 と 同玉 42 桂成 同玉 51  
馬 同玉 61 香成 同玉 71 香成 同玉 81 香  
成 同玉 91 歩成 同玉 92 歩 同玉 93 歩  
同玉 94 歩 同玉 95 歩 同玉 96 歩 同玉  
97 と 同玉 89 桂 同金 98 歩 同玉 99 歩  
同玉 89 飛 同玉 79 金 同玉 68 銀 78 玉  
67 銀 同玉 56 銀 66 玉 55 銀 同玉 47 桂  
46 玉 36 金 47 玉 48 龍 同玉 49 歩 同玉  
38 銀 同玉 39 香 同玉 28 銀 38 玉 27 銀  
同玉 26 金 同金 28 歩 37 玉 27 金 同金  
同歩 同玉 28 金 36 玉 37 金 45 玉 46 金  
54 玉 55 金 63 玉 64 金 72 玉 73 金 81 玉  
82 金 迄 89 手

市村道生 次点

51 馬の理由が、収束の段階で判断出来ま  
す。右下部の捌きは、何時もながらの切れ  
味、美しい詰上りの好局です。



16位 長 28 たくぼん 2009/12

第 7 回詰四会フェアリー作品展 5 番

強欲協力詰 83 手

1 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
	糸	と	と			糸		糸	一	
王			鶴	鶴		糸			二	
糸	桂			と	と			金	三	
又	歩								四	
	香	歩							五	
	香		歩					歩	飛	六
	香			歩		手	又	歩	七	
角	香				歩	角			八	
銀	銀	金	金		桂	飛		桂	九	

持駒 なし

91 桂成 同玉 81 と 同玉 27 角 同圭 71  
と 同玉 62 と 同玉 52 と 同玉 42 と 同  
玉 31 飛成 同玉 22 金 同玉 11 飛成 同玉  
22 銀 同玉 33 銀 同玉 34 歩 同玉 35 歩  
同玉 27 桂 26 玉 38 桂 27 玉 28 歩 38 玉  
39 歩 49 玉 59 金 同玉 69 金 同玉 78 銀  
同玉 89 角 同玉 98 銀 88 玉 97 銀 87 玉  
96 銀 86 玉 95 銀 85 玉 94 銀 84 玉 93 銀  
生 75 玉 84 銀生 66 玉 75 銀 57 玉 66 銀  
48 玉 57 銀 39 玉 48 銀 28 玉 37 銀 17 玉  
28 金 16 玉 17 歩 25 玉 26 歩 35 玉 36 銀  
26 玉 27 銀 15 玉 16 歩 25 玉 26 銀 16 玉  
17 金 迄 83 手

市村道生 次点

序盤から終始華麗な手順が続きます。思わ  
ずウツリと眺める一幅の絵巻物。最後は、  
緊張感のある巧い収束。傑作です。

【長編部門・総評】

橋本孝治

この部門では雲海氏の密室シリーズ物で相当  
苦しめられました。全部に投票しても良いの  
ですが、さすがにそれでは他の作が埋もれて  
しまうので、総合的な評価と難解性で突出し  
た 2 作を代表で選びました。

また、浦壁氏の作品は正式な発表なのかどう  
か位置付けが良く分かりませんでした。手順  
に非限定もあるようですし、素材のメモなの  
でしょうか？とりあえず投票の対象からは外  
しています。

## 小峰耕希

選考する余裕がないので棄権します。

## 雲海

1位はあっさり決まりましたが、他の作の順位づけに苦勞しました。しかし長編の半分は七郎さんの作品とは・・・

## 市村道生

さすがに、WFPは長編作の宝庫ですね。どの作品も珠玉の逸品ですが、敢えて、私の好みで選ばせて頂きました。

### 【推理将棋・プルーフゲーム部門】

投票者：渡辺、橋本孝治、橋圭伍、清水大昌、たくぼん 計5名

今回の投票者は全部門の中で一番少ない5名でした。詰将棋メモの出題に解答を送られている方はもっとたくさんいますので、私の告知不足と言われても仕方ないですね。来年度の宿題と致します。少ない投票ではありましたが、それぞれ特徴のある作が上位を占めました。推理将棋の作品は好みが大きく影響している感じですね。

1位になったのは寡作ではありますが、昨年度も2位に入った三日京さんの中編作「唯一の駒取り」21手。独特の感性をお持ちで解後感の良い作品です。

2位はタラパパさんの「さらば友よ」12手。実際に何人かの友達を失ったかもしれない？作品です。

同じく2位に○術師さんの「打歩のリクエスト」11手。私も無解でしたが予想外の手順で作者の創意をひしひし感じられる作品でした。

### 【得票順】

- 1位 推9 三日京 詰将棋メモ21-3  
推理将棋 唯一の駒取り 21手 7pt
- 2位 推34 タラパパ 詰将棋メモ29-4  
推理将棋 さらば友よ 12手 6pt
- 2位 推7 ○術師 詰将棋メモ21-1  
推理将棋 打歩のリクエスト11手 6pt

4位 推3 たくぼん 詰将棋メモ19-3  
推理将棋 オーメンⅢ? 10手 5pt

4位 推32 渡辺秀行 詰将棋メモ29-2  
推理将棋 8手目は空き王手10手 5pt

6位 推12 タラパパ 詰将棋メモ22-3  
推理将棋 玉は最強の攻め駒19手 4pt

7位 推29 鈴木康夫 詰将棋メモ28-2  
推理将棋 一騎打ちその2 17手 3pt

7位 推17 橋圭伍 詰将棋メモ24-2  
推理将棋 もぐらたたき 11手 3pt

9位 推18 金子清志 詰将棋メモ24-3  
推理将棋 9手必至 9手 1pt

9位 推33 けいたん 詰将棋メモ29-3  
推理将棋 小駒で取る 10手 1pt

9位 推42 橋圭伍 第11回 WFP 作品展 1番  
プルーフゲーム 11手 1pt

9位 推31 ○術師 詰将棋メモ29-1  
推理将棋 入玉したのに 17手 1pt



1位 推9 三日京作 2009/4  
詰将棋メモ21-3  
唯一の駒取り 21手 7pt

「面白そうな古図式だね。なんて書いてあるの」

「後手は銀2枚を含む9枚を取って21手で詰まされるそうだ」

「しかもそのとき取れる駒は常に1枚だけか。迷わなくて簡単かもね」

「不成り9回、初手は76歩ではない、とあるね」

「先手は連続で同じ駒を使わないのか。これでどうやって詰めるのだろう」

後手は4手目から最後まで、取れる唯一の駒を取り続けました。

どんな手順だったのでしょうか。

▲ 6 八銀、▽ 3 四歩、▲ 7 六歩、▽ 8 八角不成、▲ 9 八香、▽ 9 七角不成、▲ 7 九銀、▽ 同角不成、▲ 7 七桂、▽ 5 七角不成、▲ 5 八飛、▽ 3 九角不成、▲ 6 五桂、▽ 1 七角不成、▲ 3 九金、▽ 同角不成、▲ 9 三香不成、▽ 同角不成、▲ 5 二歩、▽ 同玉、▲ 5 三飛成 まで 2 1 手で詰み

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	一
	飛			玉					二
角	歩	歩	歩	龍	歩		歩	歩	三
						歩			四
			桂						五
		歩							六
	歩		歩		歩	歩	歩		七
									八
			金	王			桂	香	九

持駒 歩

**受賞コメント 三日京**

前回の 2 位を励みに作図をしてきましたが、今回 1 位とは望外の喜びです。本作はやや条件が饒舌かなと思いましたが、いい部分だけを見ていただいたようで皆様に感謝いたします。

**渡辺 1 位**

寡作家だがファンは多い？私はこの人の作品が好きです。

**たくぼん 3 位**

93 香生の一手にしびれました。この年 1 番解後感の良かった作品です。

**🌀 2 位 推 3 4 タラパパ 2009/12**

詰将棋メモ 29-4

推理将棋 さらば友よ 12手 6 pt

「さっき 12 手で詰まされた将棋は悔しいなあ」  
 「あの成と不成の王手ばかり 3 回あったヤツだね？ 34 歩に 36 歩と挨拶した手が敗因じゃないの？」  
 「それだけじゃ納得いかないなあ、棋譜を読んでみってくれる？・・・それだ！ 8 手目の 77 角

打を軽視したんだ」

「まあ、後手の駒台に何も残らないギリギリの勝負だったんだからさ、落ち込むことはないさ」

▲ 7 六歩、▽ 3 二飛、▲ 3 三角不成、▽ 同飛、▲ 4 八玉、▽ 3 七飛成、▲ 同玉、▽ 7 七角打、▲ 4 六玉、▽ 3 四歩、▲ 3 六歩、▽ 5 五角右成 まで 1 2 手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	一
							角		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
				龍					五
		歩				王	歩		六
歩	歩		歩	歩	歩		歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 飛

**受賞コメント タラパパ**

2 位になるとは予想もしていませんでした。突きあつたと思わせた歩が、実は打ち合ったのだという意外性でしたが、前回も今回もミスディレクション系。どうぞ嘘つきという評判がたちませんように。

**たくぼん 1 位**

まさか歩を打つとは思わず解けそうで解けないという作者が喜びそうな解図過程を経て解くことが出来ました。それにしても毎回タラパパさんにはやられてしまいます。

**橋本孝治 次点**

棋譜表記の曖昧さを利用した作と言えはそれまでなのですが、手順にちゃんと妙味があって、仕掛けが分かった後でも面白く感じられる作でした。





## 2位 推7 ○術師 2009/4

詰将棋メモ 21-1

推理将棋 打歩のリクエスト 11手 6pt

「いやあ、歩を持ってくれたから打歩詰で反則勝ちかと思ってどきどきしたよ」  
 「気がついてよかったよ。歩を打つのと違う手で詰んでよかった」  
 「11手で不成が4回とはあまりないよな」  
 「8手目と同じ筋に指した9手目がポイントだったか？」

▲7六歩、▽4二玉、▲3三角不成、▽3二玉、▲2二角不成、▽3三桂、▲3一角不成、▽2五桂、▲2二銀、▽3七桂不成、▲2一角まで11手で詰み

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	馬	香		香	角	角	皇	一
	進					王	銀		二
糸	糸	糸	糸	糸	糸		糸	糸	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	科	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

### 受賞コメント ○術師

突然連絡をいただいて、大変驚いています。本作は初投稿どころか初めて作った推理将棋で、そういう意味で思い入れがあります。打歩+後手桂の活用という狙いで作成を始め、当初は不成3回・33香までだった手順が、余詰検討で本手順を発見してそれをそのまま作意としました。その後余詰も生じずにさらにこのように評価いただくに至ったことは幸運としか言いようがありません。皆様の評を拝見するのを楽しみにしています。ありがとうございました。

## たくぼん 2位

解けませんでした。まさか歩を取る駒が桂とは思いませんでしたし、打歩の場所が33とも思いもせず。完敗でした。

## 橋圭伍 2位

コメント省略...

## 4位 推3 たくぼん 2009/2

詰将棋メモ19-3

推理将棋 オーメンⅢ? 10手 5pt

「たくぼんさんの初手歩突きで始まった将棋どうなったの？」

「不成の手は2回で、10手で負けたんだって・・・相変わらず弱いなあ」

「途中で66飛に『オーメン!』って叫んでんだけど・・・」

「でも6手目じゃなかったんで関係なかったって笑ってたよ」

▲4六歩、▽3四歩、▲6八飛、▽7七角不成、▲4八玉、▽6八角成、▲1一角不成、▽6六飛、▲3八香、▽4六飛 まで10手で詰み

## 橋圭伍 1位

コメント省略...

## 4位 推3 2 渡辺秀行 2009/12

詰将棋メモ29-2

推理将棋 8手目は空き王手10手 5pt

推理将棋新聞より

「第n回推理将棋名人戦七番勝負の第1局は名人の先手で初手は歩と平凡な展開かと思われたが、10手で名人の玉がトン死する大波乱となった。

勝った挑戦者は『8手目の空き王手が気持ち良かった』と感想で述べている。」

さて、七番勝負の第1局の棋譜は？

▲7六歩、▽8四歩、▲6八玉、▽8五歩、▲7七玉、▽8六歩、▲6八飛、▽3四歩、▲7八玉、▽8七歩成 まで10手

## 清水大昌 1位

最高のネタでしたね。



**6位 推12 タラパパ 2009/5**

詰将棋メモ22-3

推理将棋 玉は最強の攻め駒19手 4pt

「玉が8連続で直進するなんて、君の戦法は無謀だよ。」

「最高の戦術さ、19手で詰ませたじゃないか。玉は最強の攻め駒なんだよ。」

「たまたま相手の8手目の金の手が悪かっただけだと思うけど」

先手玉は止まることなく、58玉、57玉、56玉・・・51玉と進みました。

いわゆるお笑い系手順。

▲5六歩、▽5四歩、▲5八玉、▽5五歩、▲5七玉、▽5六歩、▲同玉、▽3二金、▲5五玉、▽6二玉、▲5四玉、▽7二玉、▲5三玉、▽5二金、▲同玉、▽9二飛、▲5一玉、▽8二銀、▲6二金 まで19手で詰み

**清水大昌 3位**

お笑い系と言っても、思いついた人は偉いですよね。

**渡辺 3位**

この手数で簡潔条件で簡単な問題は仲々作れません。

**7位 推29 鈴木康夫 2009/11**

詰将棋メモ28-2

推理将棋 一騎打ちその2 17手 3pt

「この間の将棋は僕も相手も1枚の駒しか使用しないで戦ったんだ」

「どっちが勝ったの」

「僕が17手で詰めたよ」

「相手の駒は玉しかないよね。どんな動きをしたの？」

「最初に居た51を含めて5つのマスしか存在しなかったよ」

▲7六歩、▽6二玉、▲7五歩、▽5一玉、▲7四歩、▽6二玉、▲7三歩成、▽5一玉、▲7四と、▽6二玉、▲7五と、▽7三玉、▲7六と、▽6四玉、▲6六と、▽5四玉、▲5五と まで17手

**渡辺 2位**

ほとんど考えることがないはずなのに…。騙されてしまいました。

**7位 推17 橘圭伍 2009/7**

詰将棋メモ24-2

推理将棋 もぐらたたき 11手 3pt

日和「後手が62の地点で詰まされた将棋、普通に見えますね」

美雪「11手で詰まされた時点で既に異常だと思いますが…普通というのはどの辺りがですか??」

日和「成れる時には必ず成っているじゃないっすか」

美雪「でも、良く見ると変な所もあるんですよ?」

日和「どの辺っすか?」

美雪「駒頭への着手が玉飛角金銀桂香歩頭への1回ずつだけなんですよね。普通ならもっとあると思うんですけど…」

日和「ですねえ。でも、後手は歩頭に指された成駒を何故スルーしたのか…」

▲7六歩、▽3二飛、▲3三角成、▽6二玉、▲2三馬)、▽8八角成、▲1四馬、▽1二飛、▲4一馬、▽6四歩、▲6三金 まで11手で詰み

**清水大昌 2位**

これまたアイディアが凄い。タイトルも面白い。

**9位 推18 金子清志 2009/7**

詰将棋メモ24-3

推理将棋 9手必至 9手 1pt

「9手で投了しちゃいましたね」

「どう受けても次に1手詰の完全な必至。投了するしかないね」

「駒が成る手が1度も無くて必至とは、珍しいな」

「途中の王手のあたりから、変な将棋だとは思ってたんだ」

▲7六歩、▽7二金、▲3三角不成、▽6一玉、▲2二角不成、▽同銀、▲3二角、▽6二角、▲4一角不成 まで9手で必至

### 渡辺 次点

11 手詰めを解いた気になる 9 手必至。この条件で良く限定出来たものです。

9 位 推 3 3 けいたん 2009/12

詰将棋メモ29-3

推理将棋 小駒で取る 10手 1 pt

「これが10手で詰んだ将棋か」  
「ああ、不成で動いた駒を小駒で取ってたな」  
「駒を打ったのは先手だけみたいだね」  
「そう、玉頭の歩も突いたよ」

▲ 7 六歩、▽ 3 二飛、▲ 3 三角不成、▽ 同桂、  
▲ 4 八玉、▽ 4 五桂、▲ 4 六歩、▽ 3 七飛不成、  
▲ 3 八歩、▽ 5 七飛成 まで 10 手

### たくぼん 次点

38 歩の味がたまりません。

9 位 推 4 2 橋圭伍 2009/6

第11回 WFP 作品展 PG1 番

プルーフゲーム 11手 1 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	季	王	季	爵	科	皇	一
	歩								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
									四
				歩					五
		歩	皇						六
歩	歩		歩		歩	歩	歩	歩	七
			角				飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

76 歩 34 歩 44 角 35 歩 同角 66 角 46 角  
57 角生 55 歩 66 角生 68 角 迄 11 手

### 清水大昌 次点

プルーフゲーム普及のために一票。4 6 角のワンテンポがたまりません。

9 位 推 3 1 ○術師 2009/12

詰将棋メモ29-1

推理将棋 入玉したのに 17手 1 pt

「せっかく99まで入玉したのに、17手で詰まされちゃったよ」  
「入玉した割には持駒も角香だけか」  
「そっちは前の手と違う駒（違う種類の駒）ばかり動かしてきて ... 同じ駒（同じ種類の駒）が2手続いたのは1回だけだったよね」  
「入玉なのに、お互い成った手もなかったか」

▲ 7 六歩、▽ 4 二玉、▲ 3 三角不成、▽ 同玉、  
▲ 6 六歩、▽ 4 四玉、▲ 7 七桂、▽ 5 五玉、▲ 6 五歩、▽ 6 六玉、▲ 8 五桂、▽ 7 七玉、▲ 7 八銀、▽ 8 八玉、▲ 7 九金、▽ 9 九玉、▲ 8 九金 まで 17 手

### 渡辺 次点

本作も簡潔条件の簡単な長編。素晴らしいと思います。

### 【推理将棋・プルーフゲーム部門・総評】

#### 橋本孝治

昨年はあまり推理将棋・プルーフゲームを解いていないのですが、わずかに解いた中から印象的だったものに投票しました。

#### 雲海

面白い作品が多すぎて、このままだとほとんどに投票しそうで、決められませんでした。ごめんなさい。

### 【総評】

#### 渡辺

すいません。まともに解図を始めたのが最近なので TopIX 対象は OFM153 と 154 しかありませんでした。今後は少しずつ手を出して行きます。よろしく御願います。

#### 橋本孝治

今年はフェアリーの全部門で雲海氏の活躍が目立った年でした。もはや新人と言うより、押しも押されもせぬ実力者と呼ぶべきでしょう。また、今回の投票には、たくぼんさんの編集された候補作のまとめ資料を大いに活用させていただきました。これで投票が増えるといいですね。

#### 酒井博久

候補作に目を通す余裕なく、全部 FOF からのみです。

#### 小峰耕希

TopIX に 2 年振りの投票です。去年はすみま

せんでした。

### acceleration

「この詰将棋はすごい」でフェアリーの担当をさせていただき、その関係で WFP の作品も目を通しました。ほとんど解いていなかったのが十分な評価はできないのですが、投票してみます。

### 雲海

作家ごとの出題数の割合を調べると、かなり偏っていますね。もっと多くの方にたくさん出題して頂くにはどうすればいいでしょうねえ。

### 清水大昌

私は中編以上は付いていけないので、今回は短編部門と推理将棋部門に投票します。

### シン

今期は何かと忙しく、ほとんどの作に目を通せておりません。投票が短編部門だけになってしまうことをお許し下さい。

### 市村道生

候補作品は、いずれも好作品なので、選定に苦慮しましたが、作品を厳密に評価するのではなく、「私が気に入ったお好みの局」との基準で選択させて頂きました。元来、難解作は余り好きな方ではないので、皆様方の投票結果と大分相違する気もしますが、その点をご容赦お願い申し上げます。

★ スペースの関係で各作品に詳細な解説を付けられなかったことをお詫びします。各作品については解答発表時の解説をご覧きたいと思います。

投票いただきました皆様、ありがとうございました。「詰パラ5手詰傑作集(弐)」は出来上がり次第遅らせていただきますので今しばらくお待ちください。

## 解答募集締切一覽

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覽です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

4月20日(火)

**推理将棋 第32回出題**

**\*推理将棋 3題**

5月15日(月)

**第21回WFPフェアリー作品展**

5月15日(土)

**Onsite Fairy Mate 158回出題**

**\*PWC協力詰 1題**

## 作品募集締切一覽

### Fairy of the Forest #23

課題：握り詰＝玉角金銀桂4歩5(協力詰)

投稿締切(1ヶ月延長)

2010年05月15日

(投稿先)

→酒井博久(sakai8kyuu@hotmail.com)

### 1手詰?コンクール

#### 課題A

(多重)間接王手に対する合駒を無駄合に含めると1手で詰み、無駄合概念のないルールで解くとなるべく手数が増える図を作れ

#### 課題B

原形復帰型無駄合に対する合駒を無駄合に含めると1手で詰み、無駄合概念のないルールで解くとなるべく手数が増える図を作れ

\*詳細はWFP21号(3月号)をお読み下さい  
投稿締切: 2010年05月15日

(投稿先)

→神無七郎(janacek789@ybb.ne.jp)

2010年 第22号

## Web Fairy Paradise

非売品

平成二十二年四月号

平成二十二年四月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp